

官報

號外

明治二十九年三月十一日

水曜日 內閣官報局

第九回 貴族院議事速記録第三十二號

帝國議會 貴族院議事速記録第三十二號

明治二十九年三月十日(火曜日)午前十時五十五分開議
議事日程 第三十二號 明治二十九年三月十日
午前十時開議

- 第一 市町村立小學校教員年功加俸國庫補助法案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會(前會ノ續)
- 第二 公立學校職員退隱料等ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續(特別委員)
- 第三 新聞紙法案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續(特別委員)
- 第四 地方學事通則中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第五 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 市制中東京市京都市大阪市ニ設ケタル特別廢止法律案(衆議院提出) 第一讀會ノ續(特別委員)
- 第六 市制中追加法律案(衆議院提出) 第一讀會ノ續(特別委員)
- 第七 鐵道敷設法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會
- 第八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 集會及政社法中刪除法律案(衆議院提出) 第一讀會
- 第九 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第十一 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○副議長(侯爵黑田長成君) 昨九日本院ニ於テ可決ニ爲リマシタル政府提出航海獎勵法案造船獎勵法案ハ即日內閣總理大臣ヲ經由シテ裁可ヲ奉請シ及可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知致シマシテゴザイマス、同日衆議院ヨリ開港外ニ於テ外國貿易ノ爲メ船舶出入及貨物輸出入ノ件ニ關スル法律案、神奈川縣下郡廢置法律案、長崎縣下郡廢置法律案、新潟縣下郡界變更及郡廢置法律案、山口縣下郡廢置法律案、和歌山縣下郡廢置法律案、福岡縣下郡廢置法律案、佐賀縣下郡廢置法律案、宮崎縣下郡廢置法律案、是ダケノ政府提出案ヲ受領致シマシテゴザイマス、本院提出官吏恩給法及官吏遺族扶助法案ニ關シマシテ昨九日衆議院ヨリ通知ヲ受領致シマシタニ依ッテ書記官長ヲシテ朗讀致サセマス

(中根書記官長朗讀)

官吏恩給法及官吏遺族扶助法案補助法律案
右貴院提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十五條ニ依リ及回付候也

明治二十九年三月九日

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶殿

衆議院議長楠本正隆

貴族院議事速記録第三十二號

明治二十九年三月十日

議長ノ報告

市町村立小學校教員年功加俸國庫補助法案 第一讀會ノ續 三六七

○副議長(侯爵黑田長成君) 昨朝本席ニ御依託ニナリマシタル營業稅法案ノ特別委員ヲ選定致シマシタニ依ッテ其氏名ヲ書記官長ヲシテ朗讀致サセマス

(中根書記官長朗讀)

營業稅法案特別委員

公爵德川 家達君 子爵林 友幸君 子爵鍋島 直彬君
子爵大河内 正實君 子爵酒井 忠彰君 子爵小澤 純造君
岡内 重俊君 小畑 美稻君 男爵小澤 武雄君
名村 泰藏君 渡邊 千秋君 西村 亮吉君
平田 東助君 小室 信夫君 根岸 武香君
○副議長(侯爵黑田長成君) 是ヨリ本日ノ議事日程ニ移リマス、第一、市町村立小學校教員年功加俸國庫補助法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會前會ノ續ヲ開キマス

(外山正一君演壇ニ登ル)

○外山正一君 本員ハ此法律案ノ委員ノ一人デアリマシテ即チ此原案ノ儘可決シテ宜カラウト云フ考ヲ持ッテ居リマス者ノ一人デアリマス、簡單ニ其贊成致シマスル理由ヲ陳ベマス、此法律案ニ關シマシテハ初カラ私共ノ承ハルコトニハ規模ガ小イト云フコトデアル、ソレデ此ノ如キ規模ノ小イモノデハ到底満足スルコトガ出來ヌ、デ規模ヲモット大キクシタモノデナケレバナラヌト斯ウ云フ其御議論ガ餘程多ク有ルヤウデアリマス、デ本員杯モ此案ノ規模ノ餘リ大デナイト云フコトハ十分認メテ居リマス、然ルニ本員杯ニ於テモ之ヲ遺憾トスル所デアル、不満足トスル所デアル、然ルニ本員杯ノ文部省ニ關係ノアル者カラシテ見マスルト云フコト此文部省ノ此案ノ規模ノ小イト云フコトヲ歎息シマス、モノナラズ總テ此文部省ノ規模ガ小イト云フコトヲ本員杯ハ其認メテ居ル者デアル、ソレデ此案ヲ規模ガ小イト云フコト決スベキ譯デアルナラバ文部省ノ豫算ト云フモノハ或ハ皆否決スベキモノデアラカモ知レヌト思フ、ソレデ尤モ其文部省ノ事業トシテ明々白々貴族院ニ於テモ衆議院ニ於テモ國家樞要ノモノデアッテ一日モ捨置クベカラズト觀ル所ノ帝國圖書館ノ如キモノ、豫算サヘニ出シ得ラレナカッタ所ノ文部省デアアルノデ、ソレカラシマシテ、モットソレヨリモ其小イ事デアアル、僅カ數千圓ノ費用サヘ有レバ出來ル所ノ餘程大切ナル事業杯ヲ大學杯カラ其文部省ノ豫算ニ出シテ貰ヒタイト云フテ其請求シタモノ杯ガアル、內輪ノ事杯ヲ御話申スノハ餘リ面白クナイ事デアリマス、ケレドモ併シ私ガ此案ニ就イテ持ッテ居ル所ノ考ノ能ク其御分リニナルタメニサウ云フ事モ御話スルノガ必要デアルカト思フ、ソレハドウ云フ事デアルト云フト譬ヘバ日本ノ今日ノ有様ニ於テハ日本語ト云フモノハ研究ヲ要スルコトハ非常ニ大切デアアル、日本ノ國語ノ氣質ガ出來テ來ル日本國語ト云フモノ、確固ナル所ノ觀念ノ出來ルノト云フノハ到底其國語ガ確ナモノト爲ッテ文學ト云フモノガ發達スルト云フヤウナ

事ハナカノ必要ナラデアル、ソレデ國語ノ有様ヲ見マスルト云フト實ニ今日ハ亂雜ニ爲テ居ル、ソレデ字引ト云フヤウナモノ、完全ナモノモ無シ、總テ不完全ナルコトデアルニ依テ是等ハ專門家ノ方カラ見マスルト云フト實ニ一日モ拾遺クベカラザル事デアルニ依テ是等ヲ研究ノタメニ數千圓ヲドウカ出シテ貰ヒタイト云フ請求ガアツテ、ソレデサウ云フヤウナ請求ヲシタノデアル、所ガサウ云フヤウナ事モ此年度ニ於テハ出スコトガ出來ヌト云フヤウナコトデ否決サレテ仕舞タノデアル、僅カ數千圓ノコトヲ否決サレマスルシ、ソレカラ又此實ニ國家ノ大切ナル機關タル所ノ帝國圖書館ノ如キモノモ此豫算ニ出シテナカッタト云フヤウナ有様デアル、ソレハドウ云フ所ニ原因シテ居ルカト申スト詰リ文部省ニ勢力ガナイト云フコトナシデアル、文部省ト云フ者ハ實ニ弱イ省デアル、文部大臣ト云フモノハ弱イ大臣デアル、次官モ弱イ次官デアル、斯ウ云フヤウナ事デ、併シソレニ諸君ニ御記憶ヲ願フノハ私ハ決シテ今日ノ文部大臣ハ弱イ今日ノ文部次官ガ弱イト云フテ之ヲ責メルノデハナイ、文部大臣ノ勢力ハ何時デモ弱イ又文部次官ノ勢力モ何時デモ弱イノデ、恐ラク文部省ナルモノハ何時デモ大臣ガ弱イ次官ガ弱イト云フ事ニ爲ル、ソレデ文部省ノ弱イト云フノハドウ云フ事デアルカト云フト詰リ歴史のニ弱イノデアル、歴史のニ昔カラサウ云フノデ以テ弱イ、ソレニハ私ハ大ニ輿論杯ガ矢張其餘責任ガアラウト思フ、偶然ニ弱イノデナカラウト思フ、ナゼダト云フト文部省ノ事業ト云フモノハ成ルベク輿論ノ方デモソレ程援ケナイト云フヤウナコトデア、軍備擴張デアルトカ商業デアルトカ農業デアルトカ斯ウ云フヤウナモノハ頻ニワリノ難シタデ、其省ノ後押ヲスルヤウナ事ヲヤルノニ文部ノ教育ノ事業ニ對シテハ輿論ト云フモノガ實ニ冷淡デ、却テ其文部ノ事業ヲ束縛シヤウ檢束シヤウ壓倒シヤウト云フヤウナ事ガ有タノデアル、ソレハ先ヅドウ云フ事デ分リマスカタ云フト茲ニ一ツ教育ト云フモノハ自由ガ宜イト云フ論ガ頻ニ行ハレマシテ自由教育ト云フト頻ニ唱ヘタ、教育ハ自由ガ宜イ自由教育自由教育ト云フト大變ニ言ヒマス、其自由教育ト云フモノヲ能ク見ルトドウ云フ事デアアルカト云フト自由教育云々ト云フモノハ即チ放任教育ト云フノデアアル官立ノ學校公立ノ學校等デ教育ヲサセルノト云フノニ是ハイカニ事デアアル教育ハ各個人ノ自由ニ任シテ置クガ宜イト云フ、斯ウ云フ說ヲ何ダカドコノ國カラ採テ來タシダカ、又ハ自分ノ頭カラ自然ニサウ云フ事ガ湧イテ來タノカモ知レヌケレドモ一般ニ概シテ文部省以外ノ人……サウ云フヤウナ民間ノ有力家杯ト云フ者モ經濟學者杯モまんなあすた、詰リ放任教育、自由教育……放任教育ト云フトカラ自由教育ト云フ名稱ガ起ルノデアアル、ナゼナレバ自由教育ト云フモノハ放任教育ナノデアアルト解シテ居ル、自由教育ト云フ事ハ無月謝デ以テ如何ナル者ノ子弟モ雖モ教育ヲ受ケラレト云フノ實ニ國家ノ教育ナノデアアル、ソレデ無月謝デ誰モ教育ヲ受ケラレト云フノガ自由教育デアアル、日本デハ自由教育ト云フト是ハ放任教育ノ事デアアル、官立ヤ公立デモ勝手放題ニヤラセルト云フ斯ウ云フ事ナデ、ソコラノ言葉ガ間違ッテ居ルコトハ餘程面白イコトデ……日本杯デ自由教育ト云フトハ何處デ唱ヘタカ一向私ハ知ラヌガソレハ日本ダケデ唱ヘ

タノデアアル、西洋デハサウ云フ學者ハ無イノデアアル、今一般ニ行ハレテ居ル自由教育ト云フモノハサウ云フ事デアハナイ、無月謝デ誰デモ國民タル者ハ教育ヲ受ケラレ、斯ウ云フ事デアアル、ソレデ其文部省ノ官立教育トカ何トカ云フト頻ニ攻撃スル者ガ有ルカラ文部省ト云フモノハ輿論ノ後援モ何モ無イ、ソレデアアルカラ文部省ハ弱イ、内閣ニ出テ豫算會議ノ時杯ニモ餘程弱イト云フトデアアリマセウ、歷史上ニ文部省ト云フモノハ大體弱カッタノデアアル、決シテ今日ノ文部省ガ特ニ弱イト云フト私ハ言フノデアアリマセウ、又當局者モ其御積ニ御聽キニナルコトヲ願ヒマス、決シテ誤解ノナカラシコトヲ私ハ欲シマス、ソレデアリマスルニ依ッテ今年ノ豫算ニ附キマシテモ絶對的ニ文部省カラ何ヲ……定額ヲ考ヘルト云フト文部省ノ定額……經費ノ高ヲ考ヘルト云フト實ニ少イ、他ノ省ニ比シテ割合ニ少イ、少イケレドモ併ナガラ今年ハ文部省ノ規模ヲ増シタ、比較的ニ割合ヲ考ヘルト云フト、率ヲ考ヘルト云フト文部省ノ率ノ増シタノガナカノ多イノデアアル、ナカノ文部省デハ率ハ増シテ居ルノデアアル、増シテモ頭デ少イ、本ガ少イノデアアルカラ、ソレナ高ニハ爲ラヌケレドモ率ハナカノ増シタノデアアル、此弱イ省デ此位デモ増スコトノ出來タト云フノハ戰後ノドサクサ紛レノ御蔭デアアル、ソレニ又戰後ノ影響トシテ教育杯ノ事ハ先日マデハ一種ノ放任的教育主義ヲ唱ヘタ者ガ國家教育主義ヲ唱ヘルヤウニナツタ、ソレハ新聞杯ニ見エテ居ル、教育ハドンノヤルガ宜イ、國庫ヲ補助シテデモドンノヤルガ宜イト云フヤウニ教育風ガ吹イテ來タ、是ハ教育社會ノ方カラ言フト實ニ善イ風ノ吹迴シデアッテドウカ此風ガ永クサウ變ラヌヤウニ尙ホ益吹イテ往クコトヲ私ハ希望スルノデアアル、斯ノ如キ事情デアリマスルニ依ッテ今年ノ所ハ實ニ此小學校ノ教員年功加俸ノ高ノ如キハ少イケレドモ併シ此外ニマダ圖書館ノ如キモノガ打捨テラレテ居ルノデアアル、其外マダ大切ナ事業ガ澤山打捨テラレテ居ルノデアアル、例ヘバ高等學校ト云フモノガ出來マシタケレドモ高等學校ト云フモノハ有名無實デアアル、本當ニ專門ノ學科ノ置イテアル高等學校ト云フモノハ僅ニ京都ニ有ルダケ第一デモ第二デモソレカラ第四デモ第五デモ本科ト云フモノ、有ルノハ無イ、矢張前日ノ如ク大學ノ豫科ダケガ備ッテ居ルト云フ有様デアアル、文部省ガ直接ニ責任ヲ以テヤラナケレバナラヌ事ガ多ク有ルノデアアル、或ハ天文臺ノ如キ、今日ノ天文臺ハ實ニ微々タルモノデ日本帝國ノ萬般ノ事ガ盛ニ爲テ種々ノ事ガ膨脹シテ來ル際ニハ適シタモノデナイト思ハレル事ガ有ル、色々ナ事ガ有ルノデアアル、其際デアアルニ依ッテ文部省ノ計畫ノ不満足ナコトヲ言ヘバ獨リ此事ノミデハナク他ノ事ニモ不満足ナノデアアル、ソレ故ニ此案ハ不満足ナモノデアアルケレドモ不満足ナモノ、中デハマダ宜イノデアアル、ナゼナラバ年々六十萬圓出シテ……一時ニ六十萬圓出シテ圖書館ヲ建築スルトカ云フヤウナ事デアハナク年々六十萬圓ノ金ヲ之ニ對シテ支出スルノデアアル、若シ公債デモ之ニ充テ、ヤルト云フナラバ餘程莫大ナ公債ヲ募ツタコトニナル、餘程莫大ナ公債ヲ募ラナケレバ年々是ダケノ金ハ出來ナイ、是ハ少イモノデアアル、少イモノデアアルケレドモ先ヅ初ハ此位デ宜カラウ、私ハナカノ之ニ満足シテハ居ナイガ他ノ文部省ノ事ガ追々出來テ來マスルニ連レテ追々此案ニ改正ヲ加ヘテ規模ヲ大ニスルコトヲ望ムノデ、先ヅ今日ノ所ハ此位デモ宜カラウト思フ、此事ダケニモラク張込ムト云フ

譯ニハ往カヌノデアル、又教育ノ事ニ附イテ責任ノ上カラ考ヘルト國家デ重
ニヤラナケレバ出來ナイヤウナ教育事業ト、ソレカラ市町村ノ責任デアリ且
父兄ノ責任デアアル教育事業トガ有ル、小學校ノ教育ト云フ者ハ本員杯ノ見
ル所デハ最モ責任ノアルモノハ父兄デアルト思フ、父兄ガ其教育ト云フモノ
ハ專ラ擔任シテヤラナケレバナラヌノデアル、ソレヲ小學校ノ兒童ノ月謝モ
父兄ガ出サナイデ居テ全ク國庫カラ月謝ハ出シテ貰フト云フヤウナ事ハ本
員ハ縱令出來テモ餘リ善イ事トハ思ハヌノデアル、父兄ハ金ガ無いノデハナ
イ、ナゼナラバ如何ナル貧シイ父兄ト雖モ多少煙草ヲ飲マナイト云フヤウナ
父兄ハ無い、本員ノヤウナ父兄ガ有テハ困ルガ……或ハ多少酒ヲ飲マナイ
所ノ父兄ハ無い、酒ハ飲ム金ガ有ル、煙草モ飲ム金ハ有ルガ子弟ノ教育費ト
云フモノハ一文モ出シテ居ラヌト云フヤウナ事ハ私ハ大不賛成ナコトデア
ル、子弟ノ教育ニハ父兄ト云フ者ハ飲ミタイ所ノ煙草モ幾分カ飲マズ、飲ミ
タイ所ノ酒モ幾分カ飲マヌト云フヤウナコトニシテ教育ハ出來ルダケ善ク
シテヤルト云フヤウナコトデアラフテコソ子弟モ父兄ノ有難イト云フコトヲ
感ズルノデアル、家庭ノ教育モ出來テ往クノデアル、親ハ唯産シダケデア
テ學校へ遣ッテ器械的ニ學校デ教育シテ貰フト云フ事ニ爲ルノデハ之ヲ段々
ト擴張シテ往ケバ今ノ社會黨ノ主義見タヤウニ爲ッテ仕舞フノデアル、教育
ノ中デ小學ノ教育、普通教育ノ下ノ方杯ト云フモノハ專ラ父兄ガ責任ヲ持ッ
テヤラナケレバナラヌ、ソレカラ段々金ノ掛カル教育、大學ノ教育杯ニナ
ルト、ソレハ國庫デ以テ十分ヤルト云フコトガ必要ナノデアル、設備ヤ何カニ
金ガ掛カルノデアルニ依ッテ國庫デヤルト、ソレデ私ハ主義ニ於テモ無闇ニ小
學ノ教育ニ國家デ以テドモ金ヲ出シテヤレバ宜イカト云フト、サウ云
フ意見トハ違ッテ意見ヲ持ッテ居ルノデアル、併シ地方ノ負擔ヲ輕クスル、
地方デハ逆モ出來ナイト云フ位ニ費用ガ掛ラナケレバ善良ナル教員ヲ得ルコ
トガ出來ヌトカ云フヤウナコトデアレバ其タメニ國庫カラシテ補助スル
云フコトハ善イ事デアアル、ソレカラシテ今日ノ有様デ見マスルト云フト地方
ノ小學教員ノ俸給杯ト云フモノハ實ニ僅カモノデアリマシテ到底斯ノ如キ僅
カモノデハ善イ教員デモ惡イ教員デモ俸給ガ足ラヌノデアル、ソレ故ニ斯ノ
如キ方法ヲ設ケテ幾分カ俸給ヲ増スト云フコトデアレバ先ヅ結構ナ事デア
ウト思フノデス、ソレカラシテ昨日船越君カラ御心配ノコトガアリマシテ此
法案ガ行ハレルヤウニナレバ地方デ以テ從前教員ニ増俸シタヤウナコトヲ止
メルデアラウト、サウ云フコトニナルデアラウト云フヤウナ御心配モアリマ
シタガ、其事ニ附イテハ委員會ニ於テモ本員杯モ其心配ガアリマシタニ依ッ
テ政府委員ニ屬ト其事ヲ質シマシタ、所ガ政府委員ハソレハドモマデモ文
部省ニ於テ監督スル、決シテ心配ニナルヤウナ事ニハ立至ラシメヌト云フコ
トニ政府委員ガ確ニ誓ハレタト私ハ認メテ居ル、ソレハ委員會ノ速記録ヲ御
覽ニナレバ分ルガ政府委員ガ私ニ對シテ確ニ誓ハレタト思フデ居ル、サウ云フ
心配モナク唯今申シタヤウニ此案ノ規模ハ小イケレドモ他ノ事ニ於テモマ
ルデ規模モ無い位ニ小イノガ有ルノデアル、故ニ此事ダケニ今サウ張込マ
ナケレバナラヌト云フコトハ私ハ全體ニ通ジテ觀察下シマスル者デアアルニ
依ッテサウ云フコトハ言ハヌ、地方官デモナサツタ方ハ全體ノ教育事業ノ事
ハ御目ニ入ラヌデ唯小學校教育ノ事杯ヨリ外ハ餘リ直接ニ關係ガナイカラサウ

云フ御心配ガアルヤウデアリマスガ私杯ハ地方官ヲシタコトモナシ文部省ニ
隨分永ク御世話ニナッテ居テ一般ノ教育事業ニ就イテ觀察下シテ居ルカラ
外ノ事トノ鈞合杯ヲ見マスルト此事ハ先ヅ初二政府デ六十萬圓位助ケルト云
フ位ノ事ヲヤツテ段々ト他ノ事モ擴張シテ往クニ連レテ段々規模ヲ大ニスル
ト云フヤウナコトデアリカウカト思フ、諸君モ別ニエライ御議論モゴザイマ
セヌケレバドウカ此原案ヲ此儘デ速ニ決議アラシコトヲ私ハ希望シマス、併
シ私杯ノ氣ノ附カヌ事デ更ニ其重大ナ事ガ出テ來マズレバソレハ其時ニハ私
共モ其御説ヲ御尤トシマスカモ知レマセヌ、今日マデノ所デハ段々諸君ノ反
對ノ御意見ヲ伺ッテ所ガ詰リ權衡ニモ何ニモ構ハズ唯此事ダケヲ一ト筋ニ見
テ入ラシメテソレデ御心配ニナルコト、思フデス

○船越衛君 昨日ハ昨日此案ニ對シマシテ意見ヲ述ベマシタガ定數ガ缺ケテ散
會ニナリマシテゴザイマス、尙ホ簡單ニ述ベタイト存ジマス、二度述ベル譯
ニナリマスガ……

○副議長(侯爵黑田長成君) 御意見デゴザイマスレバ最早御述ベニナリマシ
タカラ更ニ御述ベニナルコトハ少シ差支ガアリマスガ併ナガラ再付託ノ動議
ヲ昨日ハ御提出ニナッタヤウニ本席デハ認メテ居リマスガ其事ニ附イテ御述
ベニナルノデアレバ差支ハゴザイマセヌ

○船越衛君 昨日ハ採決ハゴザイマセヌ、再付託ノ理由ヲ述ベタウゴザイマ
ス

○副議長(侯爵黑田長成君) 宜シウゴザイマス

○船越衛君(演壇ニ登ル)
(船越衛君演壇ニ登ル)
法ニ於テ宜シキヲ得ヌカラ尙ホ特別委員ニ再付託ニセラレンコトヲ希望ヲ述
ベマシテゴザイマスガ不幸ニシテ出席ノ諸君ガ定數ニ充チマセナダ故ニ採
決ハアリマセヌ、然ル所唯今外山君ハ尙ホ私ノ説ニ對シテモ御演説モゴザイ
マシタ、旁々重ネテ意見ヲ陳述致シマス、此案ノ第一方法ノ宜シクナイト申ス
ノハ年功加俸ハ一々國庫ヨリ支給スルコトニナッテ居マス、如何サマ、文部省
ノ趣旨ハ是マデニ府縣ニ於テ規則等モ設ケテ教員ノ俸給ヲ増ス等ノ事ガゴザ
イマシタカラ尙ホソレヲ從來ノ如クニ實行サスノ趣旨ニハ無論相違ハゴザイ
マセヌ、併ナガラ法律ガ斯ク出マスルト町村ノ是マデ教員ニ加俸致シタ事ガ
自然ニ消滅致スコトデアラウト甚ダ懸念ニ堪ヘマセヌ、ト申スノハ昨日モ述
ベマシタ通ニ又此小學校ノ事ニ附キマシテハ町村ノ爲スベキ事モ爲サズト居
ルコトモ少ナカラズ校舍サヘモ狹隘ニシテ生徒ヲ悉ク入レルヤウナコトモ出
來ナイ、何ニ付ケ、彼ニ付ケ費用ヲ要スル事ガ少ナカラヌ故ニ若シ之ヲ今出サ
レルト云フト年功加俸ハ早ヤ國庫デシテ貰フカラ安心デアアル、然ラバ其凡ソ
豫算シタ教員ノ年功加俸ハ他ノ費用ニ用ヒヤウト云フヤウナ事ニ爲リマシテ
遂ニ三年四年加俸シ來ツタノガ五年ニ一度勤惰ニ拘ラズ唯官ノ補助ヲ仰クト
云フ事ニ爲リマスルト勤勉スル教員杯ハ難有迷惑ヲ致シマス、ソレデ折角文
部省ノ斯クマデ心配セラレタ趣旨モ水泡ノミナラズ却ッテ教育ノ害ニ爲ラウ
ト云フコトヲ恐レマスルノデゴザイマス、ソレデソレハ唯今ノ外山君ノ御演
説デモ文部省ハ斷ジテサウ云フ事ノ無イヤウニスルト申シテモ法律ガ一旦出
タ以上ハ仕ヤウガナイ、又文部省ノ趣旨モ其處ニ在ルカモ知レマセヌガマア

理由書ニ於テモ昨日述べマス通ニ「教員ノ俸給ヲ擧ケテ之ヲ支辨スルコトハ經濟狀況ノ許サ、ル所ナレハ今姑ク教員年功加俸ノ法ヲ設ケテ國庫支給トシ一ハ以テ優遇獎勵ノ意ヲ示シ一ハ以テ其地位ヲ繫持シ以テ教育ノ良果ヲ將來ニ期セムトス」斯ウアル、斯ウアル以上ハ一ニ之ヲ國庫ヨリ加俸スルト外ニハドウモ思ハレナイ

○副議長(侯爵黒田長成君) 船越君ニ一應御注意申シマスガ再付託ノ御動議ニ附イテ御述ベニナルヤウニ希望致シマス

○船越君 再付託ノ理由ヲ申シマス、理由ヲ申サスト再付託ニ付サウト云フ意味ガ分リマセヌ、ソレ故其趣旨ヲ明ニスルタメニハ此案ハ修正シナクチャナラヌ、全體私ハ此小學校ニ附イテハ餘程望ガゴザイマス、規模モ大ニシタイ、斯ナ事デハイカスト存ジマス、マダ私ハ教育補助費ノヤウナ事デサヘモ宜カラウ、教育補助費ノ如キモノデモ是ヨリ宜カラウト思フ位デアアル、況ヤ今日教育ヲ獎勵スルニハ斯ナコトデハイケヌト存ジマスルガ併シ私ノ望ヲ述ベマスルト此案ヲマルデ變ヘナクチャナラヌ、サウスルト折角文部省ノ御趣意モ或ハ行ハレマイカト考ヘマス、ソレデ之ヲ再付託ニ致シマシテ之ニ依ツテ少シデモ教員ノ收入ヲ厚クシテ折角ノ文部省ノ趣旨ノ行ハレシコトヲ希望致スノデゴザイマス、ソレデ唯今外山君ハ色々自由教育、其他文部省ノ弱イトカ強イトカト云フ御演說モゴザイマスガ文部省ノ強弱ハ私ハ存ジマセヌガ若シ弱ケレバ尙ホ議院ガ勢力ヲ附ケルガ宜シイ、私モ若シ再付託ニナリマスレバ此年功加俸モ少シモ増シタクモ存ジマスシ又此中ノ條ニ於キマシテモ大ニ削リマシテ勅令杯ニ別ニ致シテ文部省ノ事ノ行ハレ易イヤウニ致シタイ考モゴザイマスルデ旁、是ハ再付託ニ致サレンコトヲ希望致シマス、一言……

○中島永元君 船越君ノ再付託ノ説ヲ賛成旁、此案ニ對シテ私モ意見ヲ述ベマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 船越君ノ動議ニ附イテハ未ダ賛成者ガゴザイマセヌ

○中島永元君 私モ賛成ヲ致スノデゴザイマス、賛成ヲスルニ附イテ意見ヲ述ベタイノデアリマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 同ジクハ賛成ガ有リマシタ上デ御述ベニナルコトヲ望ミマス

○小原重哉君 船越君ノ述ベラレタコトニ全然賛成デゴザイマス
○男爵小澤武雄君 本員ハ文部省ノ政府委員ニ質問スルノデスガ、此船越君ノ再付託ヲシタイト云フコトハ此法案ガ行ハレ、バ是マデ地方ノ現今ヤツテ居ル所ノ年功加俸ハ或ハ無クナル、サウスルト却ツテ不都合ガ生ズルカラト云フ懸念デ御述ベニナッタヤウニ聞ヘタ、所ガ外山君ノ説デハ委員會ニ於テ確メタ所ガ決シテ不都合ハナイト云フヤウニ外山君ノ御演說中ニアツタヤウデスガ、若シ其事ガ文部省デ實行ヲスルト云フコトデアレバ、船越君ノ再付託ノ必要モナクナラウト考ヘル、最早議會ノ日數ト云フモノモ澤山ハ無イ、又議案ハ澤山有ルコトデゴザイマスカラ、同ジクナラバ成ルタケ議事ノ進行ニナルヤウニ致シタイ、再付託杯ト云フコトハ避ケタイデゴザイマスガ、其邊ハ文部省ハドウ云フ御考デアアルカ、少シモ差支ノナイコトデアアルナラバ此處

デ御明言ニナッタナラバ、是デ濟ムダラウト思ヒマス、文部省ノ御考ヲ承リタイ

(政府委員牧野伸顯君演壇ニ登ル)

○政府委員(牧野伸顯君) 唯今小澤男爵ノ御質問ニ御答致シマス、序ニ再調査ノ御希望ヲ以テ船越君カラ昨日來御陳述ニナッタ次第モアリマスカラ是ニ對シテ一二ノ點ヲ申述ベタイト思ヒマス、船越君ノ再調査ノ第一理由トセラ、所ハ地方ニ於キマシテ現今行ハレテ居ル所ノ増俸ト云フモノガ止ムデアラウ、國庫ヨリ補助スル以上ハ地方デ増俸スル必要ハナイ、故ニ地方ハ國庫ニ依頼シテ自ラ其支出ヲ増サヌデアラウ、斯ウ云フ御論デアリマスルガ、是其丁度外山君カラモ御話ノアツタ通、委員會ニ於テ既ニ委員ノ問題ト爲タノデアリマス、其節政府委員ヨリモ、是ハ監督上十分ヲ取締ヲスルト云フコトヲ申述ベタノデアリマス、ソレハ此凡ソ補助ト申シマスルト、其補助セラル、經濟ニ於テハ幾ラカ低減シヤウカト云フ憂ハ何レノ補助ニ於テモ有ルデアリマス、併ナガラサウ云フ傾ガアルカラト云フテ、之ヲ放任致シテ置キマシタナラバ、ソレハ何レ其弊ノ生ズルコトハ極ク自然ノ事デアリマセウ、併ナガラ既ニ今日ノ制度ニ於テ此教育ハ地方ノ自治ノ義務ト爲テ居ルデアリマス、地方ニ於テハ其教育上ノ……子弟ノ教育ニ力ヲ盡スコトハ是ハ自然ノ事デアツテ今日ト雖モ此町村ノ教育費ト云フモノハ段々ニ増シテ居ルデアリマス、船越君ノ論ノ如クスレバ町村ト云フモノハ德義心モナイ、町村ト云フモノハ其子弟ノ教育ニ頗ル冷淡デアルト斯ウ言ハナクチャナリマスマイト思ヒマスガ、決シテ今日ノ實情サウ云フモノデアリマスマイト思ヒマス、父兄ハ子弟ノ教育ニハ頗ル熱心致シテ居テ就學スル子弟モ段々増加シツ、アルノデアリマス、其上ニ此地方官ハ監督上ニ於テ若シ町村ガ其教員俸給ノ支給規則ヲ實行スル上ニ於テ町村會ガ不當ヲ議決ヲ致シマシタラ地方官ハ監督上ニ於テドウシテモ之ヲ取締ヲ致サナケレバナリマセヌ、果シテ町村ガ増俸セヌト云フ事ヲ議決スル場合ニ於テハ其町村ノ支出ニ對シテ相當ノ議決デアアルヤ否ヤト云フコトハ親シク其實情ニ就イテ調査ヲシテサウシテ認可否ノ權ヲ與ヘナケレバナリマス、唯町村ガ削減シタカラト云フテ、其儘決シテ棄置クベキモノデナカラウト思ヒマス、又決シテサウ自由ニ……サウ町村ニ於テモ一樣ニ教育費ヲ削減スルト云フ事ハ決シテ無イト思ヒマス、ソレハ是マデノ實情ニ於テ明ナ事デアリマス、左様ナ次第デアリマスカラ尙ホ此取締上ノ實情ニ於テ實情ニ於テ法令命令等ノ新ニ制定ヲ要シマスル事ガ有レバ、新ニ法令ヲ制定シテモ此町村ノ相當ノ義務ヲ盡スト云フ事ハ取締ヲ致サナケレバナリマイト思ヒマス、ソレカラ此規模ガ小イモウ少シ國庫ノ補助額ヲ増加シタイト云フノ御考モ段々アリマスガ、其論ニ就キマシテ當局者ニ於テハ敢テ異論等ノアルベキ筈ハアリマセヌガ、併ナガラ是ハドウシテモ經濟上ノ關係モアリマスコトデアリマスカラ、唯其事柄ダケノタメニ輕シク處置スルコトハ出ケヌノデアリマス、其點ニ就キマシテモ、委員會ニ於テモ既ニ質問モアツテ御答モ致シテ居リマス、今日ノ場合ニ於テハ此案ニ對スル豫算額以上ノ事ハ出ケナイ、是ハ財政當局者ニ於テ既ニ明言シテ居ルデアリマシテ、其事ハ委員會ニ於テ明ニ述ベテ居ルノデアリマシテ、若シ唯其目的ノタメニ手續上ニ於テ此案ガ妨ヲ被ルヤウナ事ガゴザイマシテハ誠

ニ遺憾ナコトデゴザイマスカラ、ドウゾ此法案ハ自ラ一種ノ目的ガ有ッテ起シ
タモノデアリマシテ、即チ同一學校ニ勤績スル者ニ年功加俸ヲ與ヘル、今日
ノ教員ノ勤キガ甚ダシウゴザイマスカラ、少シニテモ教員ヲ補助シテ同ジ所
ニ永ク止ッテ此教育ニ從事スルヤウニト云フ一種ノ目的デアッテ決シテ金額
ノ多寡ヲ以テ力ガアルト云フ精神デアリマセヌ、教員ヲ落著カセテサウシ
テ獎勵ヲ加ヘルト斯ウ云フ精神デアリマセヌ、ドウゾ此法案ハ此法案ノ目
的ダケノコトニ御考ヲ御持チ下サッテ御賛成ニナルコトヲ希望シマス

○西村亮吉君 質問ヲ致シマス、此法案ハ教員ノ加俸ヲ法律ヲ規定スルノデ
アリマスカラ即チ五年以上一學校ニ奉職スルベシ必ズ百分ノ十五ト云フモノ
ヲ支給スル事ニ爲ッテ居リマス、サウスルト、此五年サヘ一學校ニ勤メマスレ
バ増俸ノ必要ノナイ教員デモ是リヤア増俸セニヤアナラヌ譯ニ爲ラウト思
ヒマス、若シソレヲ増俸セナヌダ時ハ増俸ヲ請求スルノ權利ガ教員ニアラウ
ト思ヒマスガ政府ハ如何ナ御考デアリマスカラ五年過ギテモ増俸スルニ及バ
ヌ者ハセヌト云フ御考デアリマスカ

○政府委員(牧野伸顯君) 増俸スルノデアリマス、何レノ場合ニ於テモ増俸
ハスルノデアリマス、是ハ賞罰ノ意味デハゴザイマセヌ、年功ニ依ッテ補助
スルノデアリマス

○西村亮吉君 ヲレナラバ格別増俸スル必要ノナイ者ニモ必ズ増俸スル……
○政府委員(牧野伸顯君) 是ハ年數勤績シテ居リマスレバ増俸ヲ支給スル必
要ガアルト認メテ居リマス

○西村亮吉君 此法案ハ甚ダ不満足ノ法案デアリマスカラ船越君ノ委員再付
託説ニ賛成致シマス

○中島永元君 唯今意見ヲ述ベテ宜シウゴザイマスカ
○副議長(侯爵黒田長成君) 宜シウゴザイマス
(船越君發言ヲ求ム)

唯今中島君ニ發言ヲ許シマシタカラ其後トデ……
(中島永元君演壇ニ登ル)

○中島永元君 諸君、私ハ此法案ニ就キマシテハ特別委員ノ一人デアリマス、
特別委員會ニ於キマシテモ此法案ハ此儘賛成ノ出來ナイト云フ意見ヲ持ッテ
居リマシテ其節モ既ニ述ベマシタ、サウ致シマシテ意見ヲ述ベマシタハ所速
記録ニ載ッテ居リマシテ諸君ノ御手許ニ廻ッテ居ル答デゴザイマスカラ成ルベ
ク委員會會述ベマシタ意見ト重複シナイヤウニ此處デ簡單ニ此案ニ意見ノア
ル所ヲ述ベマスルデアリマス、而シテ幸ニ船越君ヨリ再付託ノ説ガ出テ居リ
マスカラソレヲ賛成スル積デアリマス、本員ノ意見ト申シマスノハ矢張先刻
カラ段々御論ノアリマシタ通、規模ノ大小ト云フヤウナ區別デ先ヅ本員ハ規
模ヲ大キクセネバナラヌト云フ方ノ側デアリマシテ全然此案ニ反對スルト云
フ趣意デアリマセヌ、此法案ハ一寸一見致シマシタ所デハ教員ノ職務ヲ安
固ニシ市町村實力ノ幾分ヲ補給スルト云フヤウナ仕方ニナッテ居リマシテ一
種ノ良法ノヤウニゴザイマスケレドモ、將來ノ施行上結果如何ト考ヘテ見
カト甚ダ憂ヘマス、何故ト申シマスレバ先ヅ第一ニ此法案ノ出シ方ガ少シ前
後シテ居ルト思ヒマス、何レ前後シナイ所ガ少シ弊ノ在ル所ヲ救フ主意ノ

加ハラネバナラヌト思ヒマス、ソレハ現今各地方ノ教員ノ給料額ト申シマス
モノハ甚ダ不同ニナッテ居リマス、餘程此給料額ハ從來不平均ニナッテ居リ
マシテ地方ノ自由ニ任セテアリマスニ依ッテ大層違ヒマス、ソレハ既ニ文部
省ノ年報ニモ載ッテ居リマシテ是モ諸君ノ御手許ニ廻ッテ居ル答デ御承知ニ
モナッテ居リマセウカラ統計ニ關シマスル事ハ成ルベク管々數クナラヌヤウ
ニ省キマス、マア、一寸例ヲ申上ゲマスレバ一縣内ノ給料額ヲ平均スルト二圓
ノ所モ有リ七圓ノ所モ有ル、二圓ト七圓ト違ガアリマス又縣ト縣ト間ニモ
亦町村ト町村トニ依ッテ違ガアリマス、其違ガアルニモ拘ラズ直ニ年功加俸
ヲ遣ラネバナラヌト云フ事ニ爲ルテ前カラ多クシテアル所ノ教員ハ益々此率
デ其割合ニ多ク年功加俸ヲ貰フ事ニ爲リマス、又少イ所ノ教員ハ其割合デ少
ク貰ウト云フ事ニ爲リマシテ其懸隔ハ益々甚シク爲ルコトデゴザイマス、ソ
レデ先以テ年功加俸ヲ遣ラネバナラヌ事ニ其邊ノ弊モ一ツ矯正セネバナラヌ、是ガ第
一ニ教員ガ一校ニ落著カズ轉々シテ歩ルノ原因ト爲ッテ居ラウト思フ、其
事ハ尙ホ後トデ詳シク申シマセウガ第二ハ先刻ヨリ政府委員カラモ申サル
ル通ニ地方ニ於テモ加俸ノ方法ハ規定シテアルニ相違アリマセヌ、現ニ年々
増加シテ往キヨル所ノ數ト申シマスモノハ此法案ニ依ッテ増加スルヨリモ
餘程増シテ居ル、是モ年報上明ニ分ッテ居リマス、ソレデ若シ此案ガ成立ッ
テ施行シマスレバ先刻カラ此弊ハナイト云フコトデゴザイマスガドウモ本員
ノ見ル所デハ此法律ニ依ッテ年功加俸ト云フモノヲ遣ルノハ此外ニ地方デ遣
ルカ遣ラヌカ分カラヌ、先ヅ此法律ノ明文通り加俸ト云フモノハ國庫カラ遣
ルコトニナリハセヌカト思フ、サウスルト是マデ地方デ遣ッテ往キヨルヲ加
俸ヨリモ却ッテ少ク爲ラウト云フ傾ガアリハシナイカト云フ心配ガアリマス
ガ、是ハ皆ナ各地方トモニサウ云フ事ハ有リマスマイケレドモ地方ニ依ッテ
ハ能ク教員ヲ優遇シテ居ル處モ有ラウト思フ、然ルニ是ガ一ト度出マスレバ
即チ標準ト爲リマシテ却ッテ今マデヨリ優遇シナイ事ニ爲ッテ折角獎勵スル
積ノガ、此獎勵ノ效ガナイヤウニ爲リハシナイカト思ハレマス、ソレカラ教
員ノ良否勤惰ヲ問ハズ一律平等ニ加俸スルト云フ事ニ爲リマスレバ、是ハ
却ッテ獎勵デナクテ懶惰ニ導クヤウニ爲リハシナイカト云フ斯ウ云フ一ノ
弊ガ起リハシナイカト思フ、殊ニ一學校ニ勤績シナケレバナラヌト云フ事ニ
爲リマスルト餘程束縛ナ事デ甚ダ酷薄ナ法律ト思ヒマス、其無理苛酷ナルコ
トハ委員會會デ既ニ述ベテ委シク速記録ニ出シテアリマスカラ最早此所デハ省
キマシテ述ベマセヌ、其他不都合ナ箇條ヲ舉ゲマスレバ幾ラモ有リマスルケ
レドモ、瑣細ノ事ハ申シマセヌ、實ニ此年功加俸ト云フモノハ、要スルニ仁
愛ノ意ニ出マシタル年功加俸デゴザイマスルケレドモ、終ニハ苛酷ナル加俸
ニ變ジハシナイカト心配ヲ致シマスル、抑、此地方人民ガ學校ノ費用ヲ吝ミ
マシテ教員ヲ優待致シマセヌデ教員ノ俸給ヲ厚クシナイト云フヤウナ事ハ我
日本ノミナラズ各國モ殆ド其弊ガアッテ各國ノ通弊トモ申シテ宜シイ位ナ狀
勢デアリマシタト思ヒマス、故ニ歐洲ノ大陸ノ各國ニ於キマシテハ、此教
員ノ給料杯ノ事ハ地方ノ自儘ニスルコトニ放任シテ置キマセヌデ必ズ中央政
府デ教員ノ給料ノ額ヲ定メ、又細ニ其等級杯ヲ刻ミ附ケズニ置クヤウナ所ニ
致シマシテモ、少クモ其給料ノ最下額ヲ定メテ置キマシテ、サウシテ其標準
ヲ定メマスル、ソレ故漫ニ節減ヲシナイヤウニナヤント極リガ附イテ居リマ

ス、ツレニ依テ教員モ其職ニ安シズルコトガ出來ルト云フヤウナ譯、格別各地方不同ノアルト云フ事モ無イヤウニゴザイマス、例へば佛蘭西デハ、男子ノ教員ハ八百ふらん以上、女子ノ教員ハ六百ふらん以上、斯ウ云フヤウナ事ニ爲テ居リマス、獨逸聯邦ハ各、教育ノ制度ヲ異ニシテ居リマス、カラ一定ハ教員モセケレドモ、先づ右様ナ方法ヲ用ヒテ居ルト思ヒマス、又都鄙ニ依テ、或ハ都會ノ場所、又村落ト云フヤウナ所ニハ、又其標準額モ違フコトニナリテ居リマス、是ハ人口ノ割合ニ依ルコトニ極テ居リマス、是ハ本員等ガ久シキ以前ニ彼地ニ渡航致シマシテ實地ニ就イテ取調ベマシタ所デゴザイマス、今尙ホ襲用シテ居ルデアラウト考ヘマス、サウ致シマシテ此年功加俸ノ如キモノハ一種特別ノ場合ニ是ハ應用スル獎勵法ニナリテ居リマシテ一般ニ教員ノ俸給ヲ政府カラ加俸ヲシテヤルト云フヤウナ方法ハ多分無イト考ヘマス、或ハ拔群ノ教員ノ有ル時ニツレニ加俸シテ遣ルトカ或ハ學校ノ事情ニ依リマシテ、ドウシテモ此上ノ加俸ハ出來ナイト云フヤウナ場合ニ、是ハ應用スルコトニナリテ居ルカト本員ハ考ヘマス、ツレヲ今一般ノ加俸ニ用ヒヤウトスルカラ色々不都合ナ事ガ出來テ來ルデアラウト本員ハ考ヘマス、前申シマシタ通教員ノ職ニ落著カズ轉、甚ダ煩繁ニ爲ル此弊ニ一番困、テ居ルト云フコトデアリマス、畢竟此教員ノ給料ト云フモノガ甚ダ薄イ、其上ニ各縣各郡又ハ各町村ノ間ニ給料ノ不同ガアリマス、依テ、ツレト教員ノ數ガ甚ダ少ウアリマス、其ニ原因有リマシテ轉職又ハ轉校ト云フヤウナ弊ガ起、テ來ルデアラウト思ヒマス、此弊ヲ矯正スルニハドウシテモ成ルタケ各地方給料ノ額ヲ同一ニシ、又此給料ノ額ヲ厚クシ、多ク致シマシテサウシテ成ルタケ從來少イ所ハ多クナルヤウニシナケレバナラヌト思ヒマス、デ今勿論皆同一ニスルト云フ譯ニハ往キマセケレドモ、是マデ各地方ニ異同ノアリテ多寡一ナラヌ所ノ有様ヲ見マス、必シモ土地ノ貧富ニ依テ、富ダ所ハ多イ貧シイ所ハ少イト云フコトニナリテ居リマセス、是ヘ色々歴史的ヤ何カノ事情カラ慣習ニ爲、テ來マシテ或ハ以前教育ノ事ニ厚ク意ヲ用ヒタ縣令ノ居、タ處ハ給料ヲ多クシ、又地方ハ富ダ居、テモ教育嫌ナ縣令ノ居、タ處ニハ給料ノ額ヲ少クスルト云フヤウナ先ヅサウ云フヤウナコトカラ慣習ニ爲リマシテ、種々ニ違、テ居ルヤウニアリマス、ツレデ先ヅ第一ニ教員ノ能ク職ニ安ジテ居ルヤウニシ、又轉校ヲ容易ニシナイヤウニ致シマス、ニハ出來ルダケ此給料ノ額ヲ同一ニシ、其上年功加俸スベキ所ハシテモ、ツレハ差支ナイト思ヒマス、併ナガラ教員ノ給料ノ金額ヲ裕ニスルニ致シマシテモ地方ノ人民ニ此事ヲ望ミマシテモ到底現今ノ有様、民力ノ耐ル所デハナイト思ヒマス、ツレ故ニマ少シ補助ノ額ヲ増シマシテ、國庫ヨリ補助スルコトニ爲リマセヌト、其事モ行ハレマセヌデアリマス、今ノ政府ハ戰後ノ經營トシテ種々ノ稅ヲ興シテ歳入ヲ増加スルコトニ爲リマシタ

〔簡單ニ願ヒマス〕ト述フル者アリ

デ隨分武事ノ事ヤ外ノ事業ニハ澤山支出スルコトニ爲リマシテ、此教育ノ事ニ就イテハ僅カ今ノ年功加俸位ノ事ニ止マツテ居ルト云フコトハドウモ少シ權衡ヲ得ナイ事デアラウト思ヒマス、ツレデ本員等ノ望ミマス所ハサウ澤山ノ補助金ヲ支出シテ貰ヒタイト云フノデハナイ、矢張此年功加俸ノ方法ニ依

テ計畫シテアリマス、通ニ十五年先キニナリテ六十萬圓ヲ支出スルト云フコトニナリテ居リマス、ノデ初年即チ此二十九年度ヨリツレ位ノ金額ヲ支出シタナラバ凡ソ是マデ地方デ教育ノ事ニ差支ヘテ居ル教員ノ給料杯ノ事モ大概ハ其弊ヲ救フコトガ出來マセウト思ヒマス、又不就學ノ兒童ガ澤山有リマセルケレドモ是モ亦就學シマスルコトガ出來マセウト思ヒマス、ツレデ……

〔簡單ニ願ヒマス〕ト述フル者アリ

○兒玉淳一郎君 是程ノ計畫ガ出來ナイト云フコトハ本員等ハ甚ダ遺憾ニ思フノデゴザイマス、先刻來文部省ノ強弱論杯モ出マシタケレドモ、強弱ハ少シモ關係シマセヌガ唯教育ノ大切ナル事ヲ本員ハ見テ居リマス、依テ委員會以來熱心ニ此事ヲ述ベマシタ次第デアリマス、ツレデ此法案ハ此儘デ贊成ガ出來マセヌニ依、テ矢張船越君ノ委員再付託說ニ贊成シマス、マ少シ及ブタケ完全ナモノニシタイト思ヒマス一言申上ゲテ置キマス

○兒玉淳一郎君 本員ハ質問ガアリマス、今ノ御說ヲ拜聽致シマシタガ、ドウモ此處ハ遠ウゴザイマス、補給ガ均一デナイト云フ事ト、國庫ヨリ支出スル事ト、補助ヲ増加スル事ト、補助年度ヲ早メル事、……

○中島永元君 マダ有リマス、ケレドモ重モナルモノハ……

○兒玉淳一郎君 ソコデ唯今ノ御說ヲ一々此法案ニ當テ、見マスルト此法デハ均一ニ爲ラヌデアリマス

○中島永元君 ハイ此法案デハ爲リマセヌ

○兒玉淳一郎君 ツレハドウ云フ譯デ

○中島永元君 ドウ云フ譯ト云フノハ從來ノ儘ニシテ、ツレデ唯五年ニナレバ百分ノ十五ヲ増スト云フヤウナコトニ爲リマス、カラ多イモノハ其割合ニ多ク増シテ貰イ、少イモノハ少イ割合デ取ルコトニ爲ル

○兒玉淳一郎君 所デ私ノ思フニハ均一ト云フモノハ地方ニ依、テ物價ノ高低ハアルガ、假令額ハ均一デナクテモ實際物價ノ高低ガ均一デナイカラ金ハ違フデモ主義ガ均一ニナレバ宜イト思ヒマス、其事ハ此法デハ往キマセヌカ

○中島永元君 サウハ往キマセヌ、物價ガツンナニ違フモノデハアリマセヌ、七圓ト二圓トノ違ニ爲、テ居ルガ巡查デアラウト官吏ノ俸給デアラウトツンナニ違ハアリマセヌ、同ジ一府縣内デモ違フ、甲ノ町村ト乙ノ町村トデハ隣リ合、テ居テモ違フ

○兒玉淳一郎君 宜シウゴザイマス、尙ホ御尋シマス、御說ニ依ルト尙ホ再付託ニスルト仰シタルガ、再付託ニナルトドウ云フヤウナ御趣向ニ爲リマス、御主意ハ……

○中島永元君 ツレハ修正ヲ加ヘル

○兒玉淳一郎君 今ノ俸給ヲ均一ニスル事ト國庫ヨリ支出スル事ト補助ヲ増ス事ト年度ヲ早メル事ヲ此御修正ノ中ニ加ヘルト云フコトデアリマス

○中島永元君 修正ガ出來レバサウシタイノデアリマス、修正ガ出來ナケレバ廢案ニシテモ仕方ガナイ、本員等ハ此有害無益ナル案ハ假令廢案ニ爲、テモ一向惜クナイト思ヒマス、併ナガラ手ノ著クダケハ手ヲ著ケル積デアリマス

○子爵加納久宜君 委員再付託説ガ成立シテ居ルノデゴザイマスカ

○副議長(侯爵黒田長成君) 左様デアリマス、成立シテ居リマス

○子爵加納久宜君 然ラバ一寸此席ヨリ申上ゲマス、本案ハ特別委員會ニ於
キマシテ審査ノ末ニ小學教育ト云フモノニ必要ナルモノデアルト云フコトヲ
議決致シタルデアアル、之ニ反シテ船越君其他反對ノ御方ニ於テハ本案ハ必要
ガナイバカリデナイ、却テ弊害ガアルカラシテ委員ニ再付託シテ調査サセル
ト云フ御意見デアアル、此御意見ニシテ見マスルト、委員會ノ調査ノ杜撰ナル
ニアラズシテ其決議ハ船越君外反對ノ諸君方ノ御見込ノ衝突シタルデアアル、
サレバ船越君ト御同説ノ諸君ヲ以テ委員ニ御擧ゲナス、テ再調査ヲ付託シタ
ナラバ率ザ知ラズ、假令本員等ニ再付託ニナリマシテモ本員等ノ意見ヲ枉
テ報告サセルト云フコトハ到底無理ナ御注文デアアルト申サナケレバナラス、
故ニ本員ハ此點ニ對シテハ御斷リヲ致サナケレバナラスト思ヒマス、且ツ又
説ノ相合ハナイガタメニ委員ニ再付託スルト云フ途ヲ開キタランニハ若シ其
委員ガ前ノ委員ト反對ノ報告ヲサレタナラバ船越君杯ハ御満足デアラウ、又
此向側ニ立ツ御方カラ更ニ委員ニ付託スルト云フ御説ガ出ルカモ知レヌ、サ
ウスルト再付託三付託、到底際限ナキコトデアアル、カラシテ特別委員會ノ決
議ニ不同意ナラバ正々堂々ト本議場ニ於テ本案ヲ落花微塵ニ論破サレルガ宜
シ、説ノ相合ハザルガタメニ再付託ト云フコトハ本員ニ於テハ宜シク避ク
ベキ事デアアルト思ヒマス、諸君ニ此段一言致シテ置キマス

○船越衛君 先刻牧野君ノ御演説中ニ私ノ演説シタコトニ附キマシテ教員ノ
來ツタ事ヲ止メルト云フコトヲ述ベマシタガ、牧野君ハサウ云フ不道德ナ事ハ
ナイ、サウ云フ御話デゴザイマシタガ、不道德ノ字ハ甚ダ私共意ヲ得マセ
ヌ、私ノ演説ハ町村ニマダスル事ガ第一教員ト云フ者ヲ重クシ其俸給ヲ官カ
ラ出スト云フ……其豫算ノ費用ヲ他ニ充テルト云フ……決シテ不道德ニ爲リ
ヤウガナイ、甚ダ其意ヲ得マセヌ、益々教員ヲ厚クスルト云フ主意カラ私
ハ申スノデ、是ハ牧野君モ地方ヲ御巡廻デ能ク御承知デサウ云フコトヲ仰
シタルノデアリマセウ、自然ニ今教育ノ發達ト云フ御言葉ガゴザイマスレバ
自然教育ノ御獎勵ガ居イタカラ今日ノ盛大ニ至ルノデ、是ハ文部省ニ於キマ
シテモ餘程御力ヲ入レラレ、學術上ニ附イテ十分御獎勵ニナタリスル所カ
ラ今日ニ至ッテ居ル……

(子爵堀田正義君) 船越君ハモウ最前意見ヲ御述ニナリマシタガ再三
意見ヲ述ベラレテモ宜シウゴザイマスカ」ト述フ

○副議長(侯爵黒田長成君) 船越君ハ動議ノ提出者デゴザイマスカラ發言ヲ
許シマシタ

○船越衛君 ツレデ牧野君ノ御誤解ト存ジテ申スノデス、不道德デハ決シテ
ナイ私ノ申スコトハ……失禮ナガラ地方ヲ御巡廻ニナル、文部省カラ御巡廻
ニナレバ或ハ善イ所バカリ御覽ニナツトルカモ知レヌ、地方ノ僻村杯ノ學校
……校舍ガ破レタリ或ハ天井ガ無カッタリスル處ヲ御覽ニナラナイ、全
ク……

○副議長(侯爵黒田長成君) 船越君ニ申シマスガ成ルタケ問題外ニ涉ラヌヤ
ウニ御注意ヲ請ヒマス

○船越衛君 ……爲スコトガ多イカラソレ故此俸給ヲ國庫カラ與ヘルト云フ
コトヲ申シタノデ、決シテ町村ガ不道德ト云フ主意デハゴザイマセヌ、ソコ
ハドウカ御了解ニナルヤウニ致シタウゴザイマス

○政府委員(牧野伸顯君) 町村ノ事業ガ多イカラ國庫補助ノ出タ曉ニハ教員
ノ俸給ハ増スマイト云フ御話デゴザイマスレバ勿論不道德ト云フコトヲ若シ
申シマシタラ當ラヌ事デアリマス、私ハ唯負擔ガ輕クナレバ宜イ國庫補助ガ
出タ曉ニハ負擔ヲ輕クスルコトガ出來ル、サウ云フコトヲ地方デ一心ニ思フ
ヤウナコトニナツテハツレハ教育上ニ附イテ不道德タルヲ免レマセヌ、地方ノ
事ヲ申シタノデ、若シ唯今船越君ノ御述ベノヤウナ次第デアレバ少シ誤解
デアタカト思ヒマス

○船越衛君 今ノ(低聲ニシテ聴取スルコトヲ得ス)

○副議長(侯爵黒田長成君) 船越君ニ一應確メテ置キマスガ船越君ノ動議ハ
同一委員ニ再付託スルト云フコトデアリマス

○船越衛君 私ハ同一委員ノ上ニ六名増シタウゴザイマス、十五人ニシタイ
○副議長(侯爵黒田長成君) 先刻船越君ノ再付託ノ動議ニ御賛成ニ相成リマ
シタ諸君ハ矢張六名ヲ増加スルト云フコトニ御賛成デアリマス、一應確メ
テ置キマス

○西村亮吉君 其通デアリマス、勿論其通

○中島永元君 賛成

○小原重哉君 賛成

○副議長(侯爵黒田長成君) 船越君ヨリ本案ハ前委員ニ付託シテ再審査ヲセ
シムル、且ツ委員ヲ六名増加スルト云フ動議デゴザイマス、此動議ニ賛成ノ
諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○副議長(侯爵黒田長成君) 少數デゴザイマス、他ニ御發議ガゴザイマセヌ
ニ依ッテ本案第二讀會ヲ開クベキヤ否ヤノ決ヲ採リマス、第二讀會ヲ開クベ
シトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黒田長成君) 過半数デゴザイマス

○子爵土方雄志君 議事日程ヲ變更シテ直ニ第二讀會ヲ開カレンコトヲ

○森山茂君 賛成

○角田林兵衛君 賛成

○關田可通君 賛成

○柴原和君 賛成

○佐藤清右衛門君 賛成

○外山正一君 賛成

○男爵渡邊清君 賛成

○子爵堀田正義君 賛成

○副議長(侯爵黒田長成君) 土方子爵ヨリ議事日程ヲ變更シテ直ニ第二讀會
ヲ開クト云フ動議、此動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黑田長成君) 過半数デゴザイマス、直ニ第二讀會ヲ開キマス、最早時刻ニ相成リマシタニ依ッテ一應休憩ヲ致シマス

午後零時十六分休憩

午後一時二十分開議

○副議長(侯爵黑田長成君) 營業稅法案特別委員會ニ於キマシテ委員長ニ公爵徳川家達君、副委員長ニ子爵林友幸君當選ニ相成リマシテゴザイマス、是ヨリ午前ノ會議ヲ繼續致シマス、第一條ヨリ第六條マデヲ問題ニ供シマス、朗讀ハ省略シマス

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス(以下ニ依リテ))

市町村立小學校教員年功加俸國庫補助法

第一條 市町村立尋常小學校及高等小學校ノ正教員及准教員ニシテ五箇年

以上同一學校ニ勤續スル者ニハ國庫ヨリ年功加俸ヲ給ス

第二條 年功加俸ハ五箇年勤續シタル者ニ本俸ノ百分ノ十五ヲ給シ後五箇

年ヲ加フル毎ニ更ニ百分ノ十ヲ加ヘ百分ノ三十五ニ至リテ止ム

第三條 此ノ法律施行前ヨリ勤續スル者ニ對シテハ明治二十三年勅令第二

百十五號小學校令發布後ニ於ケル勤務ノ月ヨリ其ノ勤續年數ヲ起算ス

第四條 明治二十三年勅令第二百十五號小學校令施行前又ハ同令ヲ施行セ

サル地方ニ於ケル訓導及訓導ノ資格アル學校長ハ此ノ法律ニ於ケル正教

員トシ其ノ授業生及授業生ノ資格アル學校長ハ此ノ法律ニ於ケル准教員

トス

第五條 學校ノ廢止若ハ學校編制ノ變更ニ因リ他ノ學校ニ轉任シ又ハ同一

ノ事由ニ因リ退職シタル後六十日以内ニ他ノ學校ニ就職シタル者ハ仍勤

續ノ例ニ依ル

第六條 兵役ニ服スル爲其ノ職ヲ去リタル者兵役ヲ終リタル後九十日以内

ニ更ニ就職シタルトキハ前後ノ在職年數ヲ勤續年數ニ通算ス

○副議長(侯爵黑田長成君) 別ニ御發議ガゴザイマセヌニ依ッテ決ヲ採リマ

ス、第一條ヨリ第六條マデ原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黑田長成君) 過半数デゴザイマス、次ニ第七條ヨリ第十條マ

デヲ問題ニ供シマス

第七條 年功加俸ハ明治二十三年法律第九十號市町村立小學校教員退職料

及遺族扶助料法ニ規定シタル諸給與及納金ノ關係ニ於テ本俸ニ加算ス

第八條 市町村立小學校組合及區ハ寄附又ハ其ノ他ノ名義ヲ用井實際ノ

支給額ヲ本俸額ヨリ低減スルコトヲ得ス但勅令又ハ省令ノ規定ニ依ルモ

ノハ此ノ限ニアラス

第九條 此ノ法律施行ノ爲ニ必要ナル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

第十條 此ノ法律ハ明治二十九年十月一日ヨリ施行ス

○副議長(侯爵黑田長成君) 表決ニ付シマス、原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ

請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黑田長成君) 過半数デゴザイマス、第二讀會ハ是ニテ終リマシテゴザイマス

○子爵土方雄志君 議事日程ヲ變更シテ直ニ第三讀會ヲ開カレンコトヲ

○子爵小笠原壽長君 贊成

○柴原和君 贊成

○山田卓介君 贊成

○男爵渡邊清君 贊成

○關田可通君 贊成

○飯淵七三郎君 贊成

○佐藤清右衛門君 贊成

○子爵林友幸君 贊成

○副議長(侯爵黑田長成君) 土方子爵ヨリ議事日程ヲ變更シテ直ニ第三讀會

ヲ開クト云フ動議、此動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黑田長成君) 過半数デゴザイマス、直ニ第三讀會ヲ開キマ

ス、朗讀ハ省略シマス

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

市町村立小學校教員年功加俸國庫補助法

第一條 市町村立尋常小學校及高等小學校ノ正教員及准教員ニシテ五箇年

以上同一學校ニ勤續スル者ニハ國庫ヨリ年功加俸ヲ給ス

第二條 年功加俸ハ五箇年勤續シタル者ニ本俸ノ百分ノ十五ヲ給シ後五箇

年ヲ加フル毎ニ更ニ百分ノ十ヲ加ヘ百分ノ三十五ニ至リテ止ム

第三條 此ノ法律施行前ヨリ勤續スル者ニ對シテハ明治二十三年勅令第二

百十五號小學校令發布後ニ於ケル勤務ノ月ヨリ其ノ勤續年數ヲ起算ス

第四條 明治二十三年勅令第二百十五號小學校令施行前又ハ同令ヲ施行セ

サル地方ニ於ケル訓導及訓導ノ資格アル學校長ハ此ノ法律ニ於ケル正教

員トシ其ノ授業生及授業生ノ資格アル學校長ハ此ノ法律ニ於ケル准教員

トス

第五條 學校ノ廢止若ハ學校編制ノ變更ニ因リ他ノ學校ニ轉任シ又ハ同一

ノ事由ニ因リ退職シタル後六十日以内ニ他ノ學校ニ就職シタル者ハ仍勤

續ノ例ニ依ル

第六條 兵役ニ服スル爲其ノ職ヲ去リタル者兵役ヲ終リタル後九十日以内

ニ更ニ就職シタルトキハ前後ノ在職年數ヲ勤續年數ニ通算ス

第七條 年功加俸ハ明治二十三年法律第九十號市町村立小學校教員退職料

及遺族扶助料法ニ規定シタル諸給與及納金ノ關係ニ於テ本俸ニ加算ス

第八條 市町村立小學校組合及區ハ寄附又ハ其ノ他ノ名義ヲ用井實際ノ

支給額ヲ本俸額ヨリ低減スルコトヲ得ス但勅令又ハ省令ノ規定ニ依ルモ

ノハ此ノ限ニアラス

第九條 此ノ法律施行ノ爲ニ必要ナル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

第十條 此ノ法律ハ明治二十九年十月一日ヨリ施行ス

○副議長(侯爵黑田長成君) 表決ニ付シマス、第二讀會ノ決議案ヲ可トスル
諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黑田長成君) 過半数デゴザイマス、可決セラレマシテゴザイ
マス、次ニ公立學校職員退隱料等ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第
一讀會ノ續ヲ開キマス、特別委員長報告

○子爵加納久宜君 本日本案ノ正副委員長トモ缺席デゴザイマスルカラ本員
代テ報告ヲ致シマス、此案ニ對シテハ至極簡單ナ事實デゴザイマスルカラ此
席カラ述ベマス、本案ハ本月六日ニ於テ第一回ノ審議ヲシテ直ニ可決スベキ
モノト委員會ニ於テ決定致シマシテゴザイマス、其次第ヲ簡單ニ申シマスレ
バ明治二十三年以來創立ニ係ル所ノ學校モ少カラナイノデ當時規定セラレタ
ル法律第九十一號等ニ漏レテ居ル學校職員等モ有ルノデゴザイマシテ從テ
其法律ニ明文ナキガタメニツレヲ適用スルコトガ出來ナイ、其結果本案ヲ提
出セラレタト云フノニ過ギナイノデゴザイマシテ、委員會ニ於テハ相當ナル
モノト認メマシテ可決ニ爲リマシタ次第デゴザイマス、ツレダケノ事ヲ一
應...

○子爵小笠原壽長君 本案ハ誠ニ簡單ナ案デモアリマスシ諸君ニ於テ御異議
モナカラウト考ヘマスカラ本員ハ讀會ノ順序ヲ省クト云フ動議ヲ提出致シマ
ス

○調所廣丈君 賛成
○山田卓介君 賛成

○森山茂君 賛成
○男爵金子有卿君 賛成

○男爵渡邊清君 賛成
○柴原和君 賛成

○子爵唐橋在正君 賛成
○男爵玉松眞幸君 賛成

○田中芳男君 賛成
○澤簡德君 賛成

○副議長(侯爵黑田長成君) 小笠原子爵ヨリ讀會ノ順序ヲ省略スルト云フ動
議ガ出マシテ賛成ガ有リマス、此動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黑田長成君) 三分ノ二以上ト認メマス、讀會ノ順序ハ省略ニ
爲リマシテゴザイマス

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)
第一條 明治二十三年法律第九十號ハ第十五條ヲ除キ市町村立ノ徒弟學校
及實業補習學校ノ教員ニ適用シ同年法律第九十一號ハ第一條及第二十條
ヲ除キ公立ノ高等女學校專門學校技藝學校及其ノ他ノ公立學校ノ學校長
及教員ニ適用ス
第二條 明治二十三年法律第九十號第二條及同年法律第九十一號第三條ハ
非職又ハ休職滿期ニ依リ退職シ及校務ノ伸縮ニ依リ退職ヲ命シタル場合

ニモ適用ス
退隱料ハ本職最終ノ俸額ニ依リ之ヲ算定ス
第三條 明治二十三年法律第九十號同年法律第九十一號及此ノ法律ニ依リ
退隱料等ヲ受クヘキ學校長正教員ノ在職年月數ハ各公立學校ノ間ニ於テ
ハ之ヲ通算ス

第四條 府縣立師範學校校長タリシ者他ノ文官ト爲リ若クハ他ノ文官タリシ
者府縣立師範學校長ト爲リタルトキハ其ノ在官年月數ハ明治二十三年法
律第九十一號及官吏恩給法ニ於テハ各其ノ規定スル所ニ依リ其ノ在官年
數若クハ在職年數中ニ通算スヘキモノトス

附則
第五條 此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

○副議長(侯爵黑田長成君) 直ニ本案ニ就イテ決ヲ採リマス、原案ヲ可トス
ル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黑田長成君) 過半数ト認メマス、可決セラレマシテゴザイマ
ス、次ニ新聞紙法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續ヲ開キマス、特
別委員長報告

(子爵由利公正君演壇ニ登ル)

○子爵由利公正君 特別委員會ノ經過ヲ御報道致シマス、本案ハ御承知ノ通
毎年新聞紙ノ事ニ附キマシテハ衆議院カラ案ガ出マシテ貴族院カラ修正ガ出
マシテハ交渉ガアリマシテ遂ニ雙方ノ協議ガ經ラナイ案デゴザイマス、故ニ
年々ノコトデ皆サンノ論ノ盡キテ居リマスコトハ御承知ト存ジマスガ、去ヌ
ル二月十二日ニ於テ委員長副委員長ノ選舉ヲ致シマシテ我々ガ委員長
ニ爲リマシタ譯デアリマス、ツレカラ十四日ニ委員會ヲ開キマシテ逐條ノ審
議ヲ致シマス前ニ當リマシテ大體ニ於テ政府ノ意向ヲ承テ見マスノニ畢竟
毎年此案ガ衆議院カラ出マスコト故ニ政府ニ於テモ年々心配ヲナサレタト云
フコトデアリマス、就キマシテ此政府ノ案ノ出サレマシタ大體ト云フモノハ
多クハ此貴族院カラ修正ヲシタ所ノ方針ニ則リマシテサウシテ是マデノ事實
ヲツレノ制限シテ成ルタケ此停止ノ日數ヲ縮メ或ハ此差止メタ理由ヲ斯ヤ
ウニ言フト云フヤウナ事ヲ段々推シテ來ラレタコトデヤサウデゴザイマス、
サウシマシテ此法案ヲ組織サレマシテ凡ソ今日ノ實際從前ノ事ヲ出來得ルダ
ケ制限サレテ此法案ヲ起草ニナツタト申スコトデゴザイマス、然ルニ本員等
大體ニ就イテ之ヲ考ヘテ見マスル所ガ衆議院カラ修正シテ廻ハリマシタ案ハ
御承知サンノ通此法案ノ朱點ノ掛ケテアリマスル部分ガ殘ラズ衆議院デ除カ
レマシタノデアリマスカラ隨分數多ノ修正ガ加ハテ居ルノデアリマシテ全
ク政府ノ意味ハ衆議院ノ通ニ同意スルコトハ今日ノ場合デハ到底出來ナイ
ト斯ウ云フコトデアリマシタ、而シテ我々考ヘマスル所デハ或ハ貴族院ノ多
數ノ御考モ衆議院カラ來タ通ニ御同意ト云フコトハ或ハ多數ノ御賛成ヲ得ル
コトガ出來マイカト考ヘマスル故ニ本員ハドウゾ否決ヲサレルガ宜カラウト
思ヒマシタタメニ否決說ヲ持出シマシタ一人ノ少數デ成立チマセヌデアリマ
シタ、ツレカラ又外ニモウ一說ニハ全ク衆議院案ノ通ニ賛成ヲシタイト云フ

御説モアリマシタケレドモ是モ少數デ成立チマセズ、而シテ逐條ノ審議ニ涉リマシタ譯デアリマス、擬逐條ノ審議ニ涉テ見マスルト一々ハ餘リ多ウゴザイマスルカラ成テケ省略ヲ致シテ申上マスガ總テ此政府案ニ復活スルト云フコトニ約メテ申サバ爲リマシタノデアリマス、逐條ニ涉リマシテカラ悉ク復活ニナリマシテ二讀會ハ先ヅソレデ一通リ終リマシタ、ソレカラ日子ヲ延ベマシテ不幸ニモ停會ト云フ災ニ遇ヒマシタ續イテ此會ヲ開クコトガ出來マセナカッタ、而シテ今一ツ尙ホ延ビマシタ譯ハ本員等此齒ヲ痛メマシテ齒ノ治療ニ掛リマシタヤウナコトデ或ハサウ云フ差支モアリマス又中ニハ此豫算委員ノ人ガ足リマヌト云フコトモアリマシタ、彼是致シテ委員會ヲ開キ得マセヌデ去ル六日ニ委員會ヲ開キマシテ確決會ニ係リマシタノデアリマス、擬確決會ノ場合ニ爲リマシテ今日ハ最早確決會ノコトデアアルカラ大體ニ就イテ御論ノアルヤウニト云フコトヲ委員長カラ申シマシテサウシテ御話ニナリマスト渡君カラ御論ガ出マシタ是ハ渡君ハ風邪ノタメニソレマデ一回モ此委員會ニ出席セラレヌノデアリマシタ、我々此大體ニ就イテ新聞紙ヲ停止スルト云フヤウナ事柄ハ如何ニモ酷デアアル依ッテ此停止スルト云フ事ノ無イヤウニ致シタイ、其箇條ト云フモノハ第十八條「安寧秩序ヲ妨害シ又ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムル新聞紙ハ内務大臣ニ於テ……」此衆議院ガ修正ヲシマシタ通ニ「發賣頒布ヲ禁シ之ヲ差押フルコトヲ得」ト斯フ云フコトニサヘスレバ宜シイノデアアル斯ウ云フ議論ガ出マスルト速ニ贊成ノ人ガ有リマシテ三讀會ニ於キマシテ此全ク外ハ皆二讀會ノ通宜シイト云フコトデアリマシタガ此一箇條ガ即チ修正ニナリマスルトサウスルト此次ノ第十八條ニ至リマシテ「發行又ハ」ト云フ四字ガ衆議院デ除キマシタ通消エテ來ニヤナラヌノデアリマス、消エテ來マセヌト是ハ矛盾スルノデアリマスカラソレデソレダケノ事ヲ直シテサウシテ確決致シマシタ譯デアリマス、段々ニ此衆議院案ニ修正ニナリマシテ前ノ黒字ニ全ク復活ニナリマシタ所ハモウ數多ノ點デアリマスルカラ別ニ申上ゲマセヌ、先ヅ右ノ通デアリマスルカラ……

(國務大臣芳川顯正君演壇ニ登ル)

○國務大臣(芳川顯正君) 諸君、帝國議會ノ開カレマシテ此方新聞紙條例ノ問題、就中發行停止ノ條項ニ附イテ毎會議論ノ無カッタコトハナイノデアリマス、其度毎ニ政府ハ到底此發行停止ノ全廢ニ附イテハ同意ノ出來ヌト云フコトヲ幾度モ議場ニ向ッテ陳述ヲ致シマシタ、然ルニ本年ニ至リマシテハ昨年貴族院ニ現ハレタル意向竝ニ目下ノ情勢ニ照ラシテ遂ニ無限ノ發行停止ハ一週間ニ縮メルト云フノ意ヲ採リテ改正法案ヲ提出致シタコトデアリマシタ、然ルニ不幸ニモ衆議院ニ於テハ此案ハ大ニ修正セラレテ恰モ別物ニ爲ッテ當院ヘ廻ハリマシタノデアリマス、當院ヘ廻ハリマシタレバ此案ノ趣意ハ當院ニ現ハレタル是マデノ意向ニ合シマスルカラ委員會ニ於テモ定メテ可決ヲ得ルナラント豫期ヲ致シ居リマシタ、成程委員會ニ於テハ多クノ條項ハ政府提出ノ案ニ復セラレマシタナレドモ其中ノ最も重要ナル骨子トモ言フベキ發行停止ノ條項ニ至ッテハ衆議院ト所見ヲ同フシテ全廢ノコトニ決セラレテ甚ダ遺憾ニ存ジマスルノデアリマス、全體此發行停止ノ全廢ニ反對シマスル理由ハ每議會續々陳述致シ置キマシタカラ今更之ヲ再演スルノ必要ハナキガ如クナレドモ此條項ノ存廢ハ國家ノ治安ノ上ニ於テ風俗矯正ノ上ニ於テ外

國交際ノ上ニ於テ最も重大ナル關係ヲ持ッテ居リマスルガ故ニ重複ヲ厭ハズ是マデ此條項ニ對シテ政府ガ執來リタル所ノ所見ヲ諸君ノ前ニ陳述致シマシテ御參考ニ供シヤウト存ジマス、思フニ新聞紙ハ讀シテ字ノ如ク社會ニ現ハレル所ノ有ラユル新事物又新思想ヲ網羅蒐集シ之ヲ社會ニ傳播シテ人ノ知識ヲ進メ人文ノ發達ヲ裨益シ傍ヲ勸善懲惡ノ點ニ於テ偉大ノ效ヲ奏スルト云フ事ハ我々ハ少シモ疑ハヌノデアリマス、然ルニ我國目下ノ新聞紙ノ狀情如何ト顧ミマシタナラバ甚ダ痛歎スベキモノアリト信ズルノデアアル、諸君ニモ定メテ御承知ノ如ク或ハ卑猥ニシテ父子兄弟ノ前ニ共ニ讀ムニ堪ヘザル事ヲ羅列シテ以テ憚ラザルモノアリ或ハ人ノ隱私ヲ摘發シ虛構ノ醜行ヲ掲ゲテ以テ人ノ家政ヲ亂リ之ガタメニ眞家ノ子女ヲシテ眞緣ヲ失セシムル如キコトモ往々有リマス、加之詭激粗暴ナ言論ヲ放ッテ世ノ人心ヲ攪動シ社會ノ安寧ヲ害セントスルモノ有リ或ハ軍事ノ秘密ヲ發シ或ハ危險ナル論說ヲ掲ゲ外國ノ交際ニ傷ケントスルモノ有リ、若シ此傾向ニシテ之ヲ制裁スルコトガナカッタナラバ此社會ノ安寧ヲ保チ風俗ヲ矯正シ外國交際ノ上ニ於テ圓滑ニ交誼ヲ全ウスルト云フ事ガドウシテ出來マセウ之ニ反對スル人ハ斯ノ如キ停止ノ條項ヲ置カズトモ此邊ノ事ハ少シモ差支ナイト云フ御考デアリマセウナレドモ政府ニ於テハ之ニ正反對デアリマス、發行停止ヲ廢シテ仕舞ヒ一ニ之ヲ……若シ其中ニ犯罪ノ事ガ有ルナラバニ司法處分ニ委任シ行政ノ處分ガ此間ニ這入ルコトガ出來ヌト云フ事ニ爲リマシタナラバ安寧ヲ維持シ秩序ヲ整頓シ風俗ヲ矯正シ外交ノ圓滑ヲ保ツト云フコトハ出來ヌト信ズルノデアリマス、サウ云フ譯デアリマスカラ畢竟新聞紙ハ前段申述ベマシタヤウニ社會ニ向ッテ大ニ利益ガアルニモ拘ラズ政府ハ此條項全廢ニ對シテ飽マデモ反對ヲスルト云フノハ右等申述ベタ通ノ弊害ガアルタメデアリマス、ソレ故ニ是ニ於テハ政府ノ所見ヲ明ニ申述ベマス、若シ幾多ノ條項ハ政府提出ノ案ニ御協賛アリマセウトモ發行停止ノ條項ニシテ衆議院ノ案ノ如ク全廢ニ決シマシタナラバ政府ハ徹頭徹尾之ニ對シテハ同意ノ出來ヌノデアリマス、願クハ諸君前來申述ベマシタ狀情ヲ御洞察アッテ御審議アラシコトヲ切望致シマス

○男爵渡邊清君 意見ヲ申述ベマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 贊成デアリマスカ反對ノ意見デアリマスカ

○男爵渡邊清君 反對ノ意見デアリマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 特別委員ノ報告ニ反對ノ御意見デアリマスカ

○男爵渡邊清君 左様デゴザイマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 宜シウゴザイマス

(男爵渡邊清君演壇ニ登ル)
○男爵渡邊清君 此問題ニ於テハ年々歳々甲論乙駁シテ論シ盡シタコトデゴザイマスカラ本員等ノ訥辯デ色々申スマデモナイコトデアリマス本員ニ於テモ此委員ノ一人デアリマスルガ委員會ノ模様ハ委員長ヨリ述ベラレタ通ノコトデ元來九人ノ委員ノ中ノ三人ガ衆議院ノ意ヲ取り六人ガ政府提出案ノ意ヲ取ツタト云フ譯デアリマス、所ガ確決會ニ至ッテ出席員ガ少キタメ、全ク政府

案通ニ回復シテアツタモノガ十八條バカリガ衆議院ノ方ニ爲タト云フモノハ此政府案ヲ賛成ノ人ガ少數デアツタカラノコトデアリマス、三人不足ヲシタノデアリマス、ソコデア元來此新聞紙ニ對スル法案ト云フモノハ先ヅ議會ノ初ヨリ衆議院ヲ望ミ居ル所ノ彼ノ發行停止ト云フ事ヲ全廢シタイ、止メタイト云フノト、政府ハナラナイト云フノ、此二ツシカ有ルマイト思フノデアリマス、併シ本員等ハ願クハ之ニ檢閲ノ法ヲ一ツ簡略ニ加ヘタラ宜カラウト思フテ其論ヲ委員會デ發シテ見タケレドモ是ハ贊成ヲ得マセヌカッタ、又是モ却テ檢閲ヲヤルト云フ事ニ爲レバ政府モ多數ガ入り又新聞紙ト云フモノモ大變ナ困難デアラウト思フ、併シ何カ一ツ是ハ制限ガ無いト全クノ衆議院ノ意見ノ通ニシテ見ルト、マルデ此新聞紙即チ有ルデ有ラユル事ヲ束ヌル所ノモノガ無制限ニナル、溯テ言ヘバ憲法ノ法律ノ範圍内ニ於テ運動セニヤナラス其モノガ範圍ガ無ク爲ル、ソレナラバ時勢ニ依ッテ範圍ガ無ク爲テモ言論ヲ許シテ宜イカト云フト今日ハドウモサウ云フ譯ニ往カナイ、然ラバ何ゾ之ニ取締ヲ附ケニヤナラヌト云ヘバ檢閲法ガ宜シイト本員等ガ思フガ、ソレガイケナイト言ヘバ矢張現在ノ發行停止ヲスルヨリ外ニ道ハ無い、ドウ論ジテモ外ニ道ハ無い、然ル所ガ政府ノ案ト云フモノハ色々政府委員カラ論辯モアリマスケレドモ先ヅ貴族院ノ意思ガ至極結構デアルカラ貴族院ノ意ニ從テ本案ヲ出シタト云フコトデアリマス、成程貴族院ニ於テモ是マデ一度ナラズ二度ナラズ此無制限ノ日限ヲ、制限ヲ附ケテ出ス、其他斟酌致シタ所ニ議決致シテ居リマス、併シ是ハ全ク斟酌シタダケノ事デ大體ヲ言ヘバ發行停止ヲ廢メルト云フノト發行停止デナケレバナラヌト云フノト此二ツヨリ外ハ無いノデアリマス、然ラバ茲ニ何レニ歸著スルカト云フニ本員等ハ色々些細ナ事ヲ爭フテ往クヨリモ未ダ時節ガ迫ル發行停止ヲ廢メルト時節ニ爲ラヌ、或ハ本員等ニ於テモ十一ツカ二ツカハ少シ是ハ無理ナ停止デハナイカト思ハヌデモナイ、ソレハ十ノ中ニ一ツカ一ツ有ルケレドモ七ツハツハ矢張當テ居ルト思フ、矢張發行停止ヲセニヤナラヌト思フノデアル、發行停止セニヤナラヌト云フモノガ苟モ有ル以上ハ要用ト言ハナケレバナラヌ、要用ト見ル以上ハ即チ聊カナ斟酌ヲシヤウヨリモイッツツ是等ハモウ斯様ナ斟酌ノ法律ヲ出サウヨリモ廢メタ方ガ宜カラウ、無いガ宜イ、即チ此法案ヲ否決シタ方ガ宜イ、スレバ現行法ニ爲リマス、現行法デアツタ時ニ何モ差支ハナイ、政府ハ尙ホ餘リ過ルト云フ所ヲ斟酌シテ注意ヲスレバ宜シ又新聞紙其者ハ注意ヲ致シテ此律ニ觸レザルヤウニ致セバ宜イノデ、雙方カラ斟酌サヘスレバ斯様ナ論ヲ年々歲々持出スニハ及バヌコトデアル、其實事ガ行ハレテ新聞紙モ順當ヲ得、發行停止ヲスルニモ少シ斟酌シテ往クト云フ事ニ爲レバ斯ウ云フモノハ無用デアルカラ其時ハ言ハス語ラズ無クナツテモ宜イノデアル、併シ未ダナカク御承知ノ通外交ノ政略ナリ其他軍事上ニ附イテモ秘密ヲ要スル事モ餘程多イ決シテ此發行停止ヲ無用ト言フ場合デナイカラ矢張有ルガ宜イ有ルガ宜イト見ル以上ハ斯様ナ斟酌杯ハ善クナイ寧ロ之ヲ廢案ニシタ方ガ宜イト思ヒマス

○村田保君 本員ハ内務大臣ニ質問ヲ致シタウゴザイマス、先刻内務大臣ノ演說中ニ政府ハ衆議院ノ修正ノ如クニ發行停止ヲ全ク廢スルト云フコトナラバ縱令貴族院ガ通過シテモ全ク反對デアル同意ハセヌト云フヤウニ承リ

マシタガ、サウデゴザイマス、一寸承リタイ

○國務大臣(芳川顯正君) 此發行停止ノ條項ニシテ行ハレヌ時ニハ他ノ條項ニ協賛セラレテモ同意ハ出來ヌト云フコトヲ申シタノデアリマス

○村田保君 貴族院ガ通過シテモ同意ハ出來ヌノデスカ

○國務大臣(芳川顯正君) 通過スル、セヌハ諸君ノ御隨意ノ事デアリマス、政府ハ其通過ヲ希望セヌノデアリマス

○村田保君 サウスルト貴族院ハ通過シテモドウシテモ政府ハソレヲ採用ナサラヌト云フノデアリマス

○國務大臣(芳川顯正君) 政府ハ無論サウ云フ考デス

○村田保君 サウスルト通過シテモ矢張今日新聞紙ノ停止ヲ存スルノデアリマス

○國務大臣(芳川顯正君) 存スル、存セヌハ大臣ノ自由ニナルモノデアリマセヌ

○村田保君 併シ同意ヲセヌト言フカラハ裁可ヲ奏請セヌノデゴザイマス

○國務大臣(芳川顯正君) ソレハ 陛下ノ御裁斷ガ有ル、ソレニ依ッテ何レニナリトモ我々ハ働クノデアリマス

○村田保君 サウスルト矢張上奏シテ御裁可ハ仰グノデスカ

○國務大臣(芳川顯正君) 無論 陛下ノ御裁斷ヲ仰グノデアリマス、政府ノ意見ヲ具シテ

○渡正元君 贊成ノ意見ヲ述ベマセウト思ヒマスガ宜シウゴザイマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 宜シウゴザイマス

(渡正元君演壇ニ登ル)

○渡正元君 諸君、本員ハ此新聞紙法案ノ審査ヲ委託サレタル所ノ特別委員ノ一人デゴザイマス、即チ委員會報告ノ案ニ贊成ノ意思ヲ表スルノ一人デアリマス先刻内務大臣芳川君ヨリ此委員會ノ報告案ニ對シテ政府ノ意思ヲ縷々陳述致サレマシテ政府ハ此委員會報告ノ案ニ對シテハ絕對的ノ反對ヲ取ルト云フコトノ演說ガアリマシタ、成程是ハ職掌上然カアルベキ事ト本員モ承ッテ居リマス、次ニ又先刻前論者即チ渡邊君ハ委員ノ一人トシテ此委員會ノ報告ノ案ニ反對スル主意ヲ述ベラレマシタ、要スルニ此新聞紙法案中ニ於テ新聞紙發行停止ノ存廢ト云フ事ハ各、其見ル所ノ異ル所デアツテ即チ其論議ノ相反對スル所以デアリマス、故ニ此内務大臣芳川君ノ演說ニ對シテ渡邊君ノ演說ニ對シテ其言論ノ首尾ヲ捕ヘテ一々辯駁スルノ必要モナイコト、考ヘマス、依ッテ本員ガ即チ此委員會報告ノ案ニ贊成ノ意思ヲ表スル所ノ趣旨ヲ是ヨリ一言陳述致シマス、抑、現行法律即チ新聞紙條例ヲ改正セント企ツルコトニ附イテハ先年來屢々衆議院提出ノ新聞紙法案ト爲ッテ帝國議會ノ問題ト爲リマシタ、先刻内務大臣モ述ベラル、如ク年々同一ナコトヲ繰返シテ居ルト云フコトハ數年ノ結果デアリマス、既ニ第六議會即チ明治二十七年五月三十一日ニ於テ此新聞紙法案ノ決議ニ附イテ兩院協議會ヲ開クコト、ナリマシタ、其節本員モ貴族院ヨリ選マレテ協議員ノ一人ト爲ッテ協議會ニ出席致シマシタ、而シテ兩院協議員交渉合意ノ未互ニ之ヲ議院ニ報告シテ而シテ貴衆兩院議場ノ決議ノ結果ハ遂ニ相一致スルコトヲ得ズシテ兩院協議會交渉ノ結果ハ遂ニ水泡ニ屬シテ現行ノ新聞紙案ハ依然トシテ繼續スルコトニナリマシ

タ、然ルニ本年ハ政府ニ於テモ大ニ見ル所アリト見ヘテ政府自ラ現行ノ新聞紙條例ヲ改正シテ新新聞紙法案ヲ起草シテ帝國議會ニ提出セラレマシタ、本員之ヲ閱スルニ政府改正ノ趣旨要點トスル所ハ即チ新聞紙發行停止ノ箇條デアリマス、其改正ノ趣旨ハ諸君モ御承知ノ如ク現行法律……現行ノ新聞紙條例ノ第十九條第二十條ヲ合併シテ一條ト爲シ第一項ニ現行新聞紙條例ノ本文ヲ一項トシ、次ニ第二項ヲ置カレテ停止ノ其事項ヲ指示シ、日刊新聞ニ在テハ一週日以内其他ニ在テハ三回ノ發行ニ相當スル期間以内トスト云フコトヲ以テ第二項ニ置カレマシタ而シテ第三項ニハ現行法律ノ第二十條ヲ置カレマシタデアリマス、此改正ノ趣旨ハ即チ從來ノ新聞紙停止ニ無期限ノ發行停止ヲ置カレテアツタモノヲ改メテ之ヲ有期即チ一週間以内トスルコトニ改正セラレタノデアリマス、而シテ其停止スルノ事項ヲ指示スト云フコトニ改メラレタ、是ガ政府提出案ノ眼目トスル所ノ要點デアリマス、然ルニ現行法律即チ新聞紙條例ハ諸君モ御承知ノ如ク明治二十年十二月勅令第七十五號ヲ以テ發布施行サレテアルモノデアリマス、憲法發布ヨリ先ダ三三三年、帝國議會開設ヨリ先ダ三三四年、其時勢ヲ今日ヨリ回顧スレバ恰モ專制政治ノ晚年トモ申シテ宜シイ時勢デアリマス、殊ニ其當時ハ諸君モ御承知ノ如ク彼ノ國會開設希望熱ト云フモノガ高マツテ世上ノ人氣モ激昂シ、就中新聞屋社會ニ於テモ激論壯語ヲ記載シテ得意ト爲シテ居タ時勢デアリマス、此際ニ於テハ政府ニ於テモ其時勢相當ナル裁判ヲ新聞紙條例ニ記載シタモノデアリマス、故ニ彼ノ憲法第二十九條ニ謂ヘルガ如キ言論ノ自由印行ノ自由著作ノ自由ヲ有シ云々ト謂ヘルガ如キ明文ニハ固ヨリ對照シタモノデモナシ、新聞紙屋モ暴言ヲ書散ラシ政府モ亦嚴酷ナル處置ヲ執リヨツタ時勢デアリマス、然ルニ物變リ星移ッテ今日立憲政治ノ治下ニ在ッテ政府自ラ大ニ見ル所アツテ現今ノ新聞紙條例ヲ改正シテ新新聞紙法案ヲ帝國議會ニ提出セララル、ニ當ッテハ宜シク政府ハ從來ノ發行停止ト云ヘルガ如キ爾後ノ懲罰的ノ處分ハ行政官ノ權内ヨリ除キ去ッテ行政官ニ於テハ唯其新聞紙ノ治安ヲ妨害シ若クハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルモノガ有ツタ時ニハ其發賣頒布ヲ禁止其新聞紙ヲ差押ヘルコトヲ得ルト云フコトマデ止メ置カレテ政府ハ公明正大ナル處置ヲ執ラル、ヲ以テ本員ハ至當ト考ヘマス、故ニ此發行停止ハ假令一週間以内ト雖モ之ヲ全廢スルヲ以テ至當ト考ヘマス、此點ガ即チ滿場諸君ノ判斷ヲ請フ所ノ要點デアリマス、又此政府提出ノ新聞紙法案ニ對シテ衆議院ノ決議スル所即チ衆議院修正ノ新聞紙法案ヲ閱スルニ衆議院ニ於テハ此政府提出ノ法案ニ對シテ逐條多少ノ修正ヲ加ヘテアリマス、然レドモ衆議院修正ノ眼目要點トシテ見ルベキ所ハ二ツ有ル即チ第一ニハ新聞紙ノ保證金ヲ全廢スル事、第二ニハ此發行停止ヲ全廢スル事、此保證金ヲ全廢スルコトハ本員等ノ執ラザル所デアリマス、抑、我新聞紙發行營業ニ附イテ保證金ヲ納ムルト云フ事ハ其新聞紙ニ記載スル所ノ事項ニ附イテ或ハ裁判費用或ハ罰金或ハ損害賠償ノ金額ヲ要スル場合ニ於テ其金額ヲ若シ完納セザル時ニハ此保證金ヲ以テ之ニ充ツルト云フ事ハ最も至當ナル處分デアリマス、又新聞紙ノ發行營業ヲ爲サント欲スル位ノ者ガ此保證金ヲ出スコトガ出來ナイト云フコトハナイ若シ又其資力ナクシテ保證金ヲ出スコトノ出來ナイ位ノ者ニハ新聞紙營業ヲ許可シナイデ宜シイ、故ニ衆議院ニ於テ保證金ヲ全廢シタルハ本員

等ノ最も反對スル所デアリマス、次ニ衆議院修正ノ眼目ノ第二即チ新聞紙發行停止ヲ全廢スルコト云フ事ハ是ハ本員等ト其見ル所、意思ノ相投合スル所デアリマス、此新聞紙發行停止ヲ全廢スルコト云フ事ニ附イテハ前ニモ申サガ如ク發行停止ト云フ事ハ事後ノ懲罰的ノ處分デアリマス、依ッテ衆議院ニ於テ此發行停止ヲ全廢除シタルハ本員等ト其意思ノ相投合スルモノト考ヘマス、之ヲ要スルニ本員ハ此政府提出ノ新聞紙法案ニ對シテ發行停止ノ事項ヲ削除シ即チ委員會報告案ノ如ク可決センコトヲ希望致ス者デアリマス、之ヲ今一度言換ヘテ見レバ政府提出ノ新聞紙法案ニ對シテ其第十八條中發行停止ニ係ル所ノ項目ヲ削除シ而シテ是ヨリ關聯スル所ノ第八條ニ於テ「又ハ其發行ヲ禁ゼラレ」ト云フ字ヲ削リツレカラ終ノ第二十六條第二項ニ於テ「發行又ハ」ト云フ文字ヲ削ル而シテ其他ノ事項ハ總テ政府提出ノ法律案ニ對シテ贊成ノ意思ヲ表スル所ノ者デアリマス

○村田保君 外ニ通告ハゴザイマセヌカ

○副議長(侯爵黑田長成君) 通告者ハ外ニハゴザイマセヌカ

○村田保君 本員ハ實ハアンマリ此新聞紙ノ事ニ深く關係モ持ッテ居リマセヌカラ實ハ默シテ居ル積デ居リマシタガ先刻芳川內務大臣カラ此議場ニ演說セラレマシタコトニ附キマシテドウモ本員ハ默シテ居ラレマセヌカラ、ツイ此席ヘ出テ申述ベルコトニナツタ先程述べラレマスルニハ……本員カラ確メマシタ時ニ假令此案ガ貴族院ガ通過シテモ政府ハ不同意スルカト云フ所ガ全然不同意ダト云フコトヲ言ハレタ、此言タルヤ本員ノ考ニハ實ニ議場ヲ脅迫スルデハナイカト思フ、議場ノ諸君ヲ脅迫シテ何デモ是ハ政府案ニ同意シロト言ハヌバカリノ言葉ダラウト思ヒマス、又勢ヒ皆様方ハ決シテ此內務大臣ノ脅迫ニ從ッテサウシテ此政府案ヲ御贊成ナサルト云フヤウナ事ハアルマイカト考ヘマス……

(內務大臣芳川顯正君「唯今……」ト述フ)

私ガ發言權ヲ得テ居リマスカラ……ソレデ是非……

○副議長(侯爵黑田長成君) 一寸村田君……

○村田保君 ソレデヤ此處ヘ來テ御述ベナサイ……

(渡正元君「ソレハイケマセ」議院法ニハ國務大臣及政府委員ノ發言ハ何時タリトモ之ヲ許ス可シ但シ之カ爲ニ議員ノ演說ヲ中止セシムルコトヲ得スト書イデアリマス」ト述フ)

○副議長(侯爵黑田長成君) コチラデ中止シタノデハゴザイマセヌ

(子爵舟橋逸賢君「村田君ヤリ玉ヘ」安場保和君「止中ニ當ル」ト述フ)

○村田保君 暫ク……後トデ十分言ヘルコトデゴザイマスカラ後トデ御述ベナサイ、私ノ言フコトハ何ヲ言フカ知レマセヌカラ十分聽イテ仰ッシヤルガ宜イ、ソレデ如何デゴザイマセウ、尙ホ又內務大臣ハ言ッテ居ル、若シ此發行停止ガ衆議院ノ如ク止メラレタ此日本國ノ治安ヲ保ッテ往クト云フコト出來ヌト云フコトガアル、如何デス、本員杯ハ此新聞紙ノ停止ガ無クナツタカラト云ッテモ治安ガ保テナイト云フコトハナイ、ソナ詰ラナイ日本ニ內務大臣ガ有ルカト思ッテ實ニ驚イタ、如何デス、此衆議院ノ修正案ヲ實行シタ

ラバ此内務大臣ノ心配ヲセラレハ却テ停止ヨリモ宜イト思フ、先程モ言ハレタノニ日本ノ今日ノ新聞ト云フモノハ、父子兄弟ノ前デ讀メヌコトガアリ人ノ隱私ヲ許コトガアル或ハ外交軍事ノ事杯ヲ往々掲ゲテ實ニ取締ガ附カヌト云フコトヲ言ハレテ非常ニ心配サレタ、所ガドウデス今日ハ新聞ノ停止ト云フモノハドウデアルカト云ヘバ何時デモ頒布シテ人ノ耳目ニ入レテ後ニ停止スル、ツレ故父子兄弟ノ前デ讀メヌコトガアルト云フケレドモ實際父子兄弟ノ前デ讀メタ後又ハ人ノ隱私ヲ許コトハナラヌト云フテモ人ノ隱私ヲ許イタ後始メテ知ツテ停止スル、又外交ノ事モサウデス、成程外交ノ機密ノ事ハ容易ニ書カセテハイケナイ、ト言ヒナガラ外交ノ機密ヲ一般ニ現ハレテカ驚イテ停止スル、ツレデハ何ニモナラヌ、ツレデハ何モ停止スルト云フテモ停メルト云フコトハナイ、ツレヨリハ今度衆議院デ修正ニナリマシタ通ニ此法案ヲバ……此通實行ヲシタラバ人ノ耳ニ入レヌ中ニ停メルダラウト思フ、此條ニ何トゴザイマス「安寧秩序ヲ妨害シ又ハ風俗ヲ壞亂スルモ得」トアリマス新開紙ハ内務大臣ニ於テ其ノ發行頒布ヲ禁シ之ヲ差押フルコトヲ間ニ出ナイ中ニ停メルコトガ出來ルカラツレデ立派ニ社會ニ害ヲ及サナイダラウト思フデス、却テ發行停止スルヨリ新聞社ニ利クカモ知レマセヌ、澤山新聞ヲ刷ツテ千枚モ二千枚モ刷ツテ今日賣出サウト云フノ早ク押ヘラレタラ、コタヘルニ違ヒナイ、ツレデナケレバ一週間位停止シテモ何ニモ爲ラヌ又一週間位經テバ又其通ノ事ヲ書イテドシ、出サレルカラ何デモナイ、ツレデ内務大臣ノ御心配ノ所ハ本員ハ御尤ト思ヒマス、ツレナラバ目ニ觸レルコトヲ早ク妨グガ宜イ、一般ノ社會ニ毒ヲ流シテカラ發行停止ヲシテモ何ノ役ニモ立タヌト思ヒマスカラ本員ハ矢張衆議院ノ修正ニ贊成シマスドウゾ十分御駁シヨ……

○國務大臣(芳川顯正君) 唯今村田君ノ御演說ヲ拜聽致シマシタガ、内務大臣ガ脅迫ヲシタト云フコトヲ仰セラレタガ……
(「ドウカ演壇デ願ヒマス」ト呼フ者アリ)

(國務大臣芳川顯正君演壇ニ登ル)

○國務大臣(芳川顯正君) マア一遍言換ヘマセウ、唯今村田君ノ御演說ヲ拜聽致シマシタガ内務大臣ガ脅迫シタト云フコトヲ仰セラレタコトハ確ニ承ツテ居リマス、私ハ脅迫ハ致サヌノデアル前ニ登壇シテ演說ヲ致シマシタノハ此條項ガ無クテハ治安ハ保テヌト云フ點ニ附イテ此條項ヲ廢スルコトハ到底不同意デアルト云フコトヲ申述ベタ、然ルニ退イテ後ニ御質問ガアツテ貴族院ヲ通過シタ後ニ矢張不同意デアアルカト言フカラ政府ハ飽クマデモ不同意デアルト斯ウ申シタ、サウシタラ是ハドウスルノカ、奏聞スルノカセヌノカ、……無論此勅命ヲ奉シテ提出シタ案ヲ否決シヤウガ可決シヤウガ政府ニ於テハ之ヲ奏聞セズニ置クト云フコトハ到底出來ヌノデアリマス、即チ意見ヲ附シテ奏聞シテ御裁斷ヲ仰クト云フコトヲ申述ベタダケノ事デアリマス、アナタ方ガ斯ウセヌケレバドウスルト脅迫ヲ致シタト云フヤウニ御了解ガアツテハ甚ダ迷惑致スノデアアル、脅迫致シタノデナイト申スコトヲ一應申シテ置キマス

○安場保和君 本員ハ此特別委員ノ一人デ即チ委員長ノ報告通ノ案ニ同意ヲ

表スル一人デアリマシテ其趣旨ハ先キニ特別委員ノ一人ヨリ縷々要約ナル所ヲ舉ゲテ演說ニナリマシタカラ最早之ニ口ニ添ヘルノ必要ハナイ、爲ニ沈默致スベキデアリマシタガ併ナガラ内務大臣ノ御辯明ト云ヒ御決心ト云ヒ唯今村田君ノ御問答ト云ヒ甚ダ遺憾ニ堪ヘヌ次第ガゴザイマスカラ一言意思ヲ述ベテ置キタイト思ヒマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 然ラバ演壇ニ……

○安場保和君 簡單デゴザイマスカラコナタデ申述ベマシテ演壇ニ上ガルダケノコトハゴザイマセヌガ……

(安場保和君演壇ニ登ル)

○安場保和君 唯今申述ベ掛ケマシタ通ニ甚ダドウモ今日ノ議場ハ不満足ニ思ヒマス、不満足ノ事ヲ諸君ノ前ニ述ベテ置キタイト思ヒマス……

(「是リヤ怪シカラヌ」議場ヲ不満足トハ何デスカ」ト呼フ者アリ)

議場ノ問答ノ次第ト申スノデゴザイマス、詳シウ申セバ……議場ノ御席ヲ申スノデハゴザイマセヌ、是ハ私ノ口上ガ足りマセヌカラドウゾ其所ハ御勘辨ヲ願ヒマス……

(「分リマシタ」ト述フル者アリ)

總體此議案ニ附キマシテハ委員會ノ大要モ委員長ヨリ報告モアリ又渡邊男爵ヨリモ略シ、此自己ノ意見モ述ベラレマシタ、又其中ノ一人ヨリモ十分述ベラレマシタカラ其邊ノ點ニ附イテハ申述ベマセヌガ段々此大體ニ就イテ考案ヲ下シマスレバ誠ニ此些々タル新聞紙條例ノ一條項タル尤モ必要ノ事トハ申シナガラモ發行停止ヲ止ムルカ止メヌカト云フ事ヲ以テ區々兩議院ト政府トノ間ニ事情相容レズシテ年々歳々相抵抗シテ往クト云フコトハ今日外萬國ニ對シテ斯ノ如キ我御國ノ有様ヲ照シ合シテ見マスレバ誠ニドウモ最モ政府ノ政策ノ宜シキヲ失シテ居ルコト、信ジマス、其次第ハ縷々委員會ニ於テ精神ヲ盡シ言葉ヲ盡シテ申述ベマシタケレドモ是ハ如何セン政府ハ政府ノ意向ガアツテ述ブレバ、述ブレ程前議ヲ主張サレマス、デ已ムヲ得ズ今日議場ニ向ツテ諸君ノ御一考ヲ煩ハシタイト存ジマス、只ノ何ンデモナイ、斯ノ如キ發行停止位ノ事ヲ以テ是ガ無ケレバ治安ニ妨害ヲ與ヘ國家ノ秩序ヲ保テナイト云フ程ノ決シテ事柄デハアルマイト存ジマス、茲ニ政府ハ懷襟ヲ披イテ外各國ノ形勢ト我今日ノ日本ノ現在ノ有様ニ照シ合セテ精神ヲ披イテ公道ヲ施クト云フノ主義ヲ執ラレマシタナラバ衆ノ囂々ハ忽チ消散シテ和衷協同ノ實ヲ得ルコトハ疑ハナイ、ツレヲ何ヲ苦シンデ區々新聞紙條例ノ發行ヲ止メタナラバツレガタメニ風俗ヲ害シ外交ニモ差障ハルトカ云フヤウナ小刀細工デ此政治ヲ執ラレノハ甚ダ此明治政府ノタメニ遺憾ヲ極ムル譯デアリマスカラ願クハ政府ニ於テハ十分ニ猛省ヲシテ是等ノ事ハ十分ニ其大體ヲ見テ處分アラシコトヲ希望致シマスケレドモ其點ハ最早絶望デアリマスカラ此滿場ノ諸君ニ向ツテ其所ノ御判斷ヲ希フ譯デアリマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 別ニ御發議ガゴザイマセヌニ依ツテ是ヨリ表決ノ事ニ取掛リマスガ表決ハ記名投票ヲ以テスベシト云フ要求ガ有リマスカララシテ記名投票ヲ以テ第二議會ヲ開クベキヤ否ヤノ決ヲ採リマス

○西村亮吉君 第二議會ヲ開クベシト云フノハドウゾ以テスルノデスカ

○副議長(侯爵黒田長成君) 即チ第二議會ヲ開クベシトスル者ハ白色票ニ、

第二讀會ヲ開クベカラズト云フ諸君ハ青色票ニ各々氏名ヲ御認メニナルコトヲ希望シマス、是ヨリ投票ノタメニ氏名點呼ヲ行ヒマス

(氏名點呼ヲ行フ)

○副議長(侯爵黑田長成君) 投票終リマシタニ依ッテ是ヨリ開票致シマス

○子爵津輕承敘君 一寸伺ヒマス、唯今書記官長ニ野村治三郎君ハ名ヲ認メテ賞ヲヤウニ思ヒマスガ、サウ云フ事ハシテモ宜イノデゴザイマセウカ、自ラ名ヲ記サズトモ書記官長ニ認メテ賞ヲ宜シイ譯デアリマセウカ、是ハ慣例ニ爲リマスカラ何ッテ置キマス、是ガ若シナラヌト云フ譯ナラバ是ハドウゾ更ニ爲サナケレバナラヌ次第デアラウト思ヒマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 一應諸君ニ御諮リ致シマスガ、野村君ハ青票ヲ携帶ニナリマシテソレニ自己ノ氏名ヲ認メテアリマセヌデゴザイマシタガ其投票ハ有效ト認メテ差支ナイト云フ御考デゴザリマセウカ、一應滿場ニ諮リマス

○男爵伊達宗敦君 少シ分リマセヌデゴザリマシタカラ、今一應唯今ノ議長ノ御言葉ガ分リ兼ネマシタ

(無名ノ投票ハ無効デゴザイマスト述フル者アリ)

○渡正元君 投票ハ規則ニ據ゲデアリマスニ依ッテ合格セザル投票ハ無論無効ト考ヘマス、是ハ最早議長カラ議院ニ御諮ヒニナル必要ハナイ事ダラウト存ジマス

○子爵舟橋達賢君 一寸伺ヒマスガ、先刻或議員カラノ質問ニ依ッテ見マスレバ書記官長ハ野村治三郎君ノ投票ニ對シテ……

(子爵津輕承敘君或議員デハナイ私デアリマスト述フ)

名前ヲ記入シタト云フ尋ガアリマシタガ書記官長ハ實際其名前ヲ記入シタノデアリマスカ記入シナイノデアリマスカ其邊ノ所ヲ一應確メテ置キタイト思ヒマス

○男爵伊達宗敦君 唯今私カラ願ッテ置キマシタガソレハ津輕子爵カラ御述ベニナリマシタル通先程兩議員ガ投票ヲ書記官長ノ所ニ出サレタ、果シテ書記官長ハ兩議員ノ名前ヲ認メラレタカドウカハ分ラヌガ何事カラ鉛筆ヲ以テ御認メニナッテ書記官ニ御渡シニナッタコトハ本員明ニ認メテ居ル、ソレハ無効ト爲レバ宜シイケレドモ他ノ議員ノ氏名ヲ書記官長ガ認メテソレヲ渡スコトハ無論有ル間敷キ話デアラウト思フ、自己ノ氏名ヲ記セザル時分ニハ無効デアリマス、ソレヲ有効トスル左様ナ不都合ナ事ハ無論議長席ニ於テ御認メニナリマスマイシ又公明ナル書記官長ニ於テ万々左様ナ事ハ無カラウト思ヒマス、小笠原子爵ノ御尋ガアリマシタガ

(子爵小笠原壽長君私ジャアリマセヌト述フ)

津輕子爵ノ御尋ガアリマシタガ明ニ御示シニナランコトヲ切ニ願ヒマス

○子爵津輕承敘君 私ハソシナニ八釜數ク言フノデハゴザイマセヌ、是ハ矢張無効ナモノト信ジテ居リマス、サリナガラ議長ノ御協議ニ任セマシテ尙ホ又申上ゲマスコトモゴザイマスガ、私ハ深ク八釜數ク申ス譯デハゴザイマセヌ

○副議長(侯爵黑田長成君) 段々諸君カラ御話モゴザリマスルガ、本席ニ於キマシテハ野村君及三木君ノ投票ハ單ニ青色票ノミヲ携帶セラレタノデアッ

テ自己ノ氏名ガ記入シテゴザリマセヌカラ此二ツノ投票ハ無効デアルト本席デハ認メタイト考ヘマス

(「御尤」立派ナ話「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

御異議ガゴザリマセヌト認メマスニ依ッテ此二箇ノ投票ハ無効ト致シマス

(「大異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(侯爵黑田長成君) 投票ノ結果ヲ御報告ニ及ビマス、投票總數百二十二、白色票即チ可トスル議員四十九、青色票即チ否トスル議員七十一、無効投票二、依ッテ本案ハ第二讀會ヲ開クベカラズ、即チ廢案ニ決シマシテゴザイマス、次ニ地方學事通則中改正法律案政府提出、第一讀會ヲ開キマス、朗讀ヲ致サセマス

(有賀書記官朗讀)

地方學事通則中改正法律案

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス
明治二十九年三月七日

內閣總理大臣侯爵伊藤博文
文部大臣侯爵西園寺公望

地方學事通則中改正法律案

明治二十三年法律第八十九號地方學事通則中左ノ通改正ス

第九條第三項中「廢設並支消賣却交換讓渡質入書入」トアルヲ「設置及處分」ト改ム

第十條第三項中「府縣郡」ノ下ニ「市町村町村學校組合及市町村內若クハ町村學校組合內ノ區」ノ二十六字ヲ加フ

(政府委員牧野伸顯君演壇ニ登ル)

○政府委員(牧野伸顯君) 唯今朝讀ニナリマシタ法律ノ改正案ニ就イテ簡單ニ申述ベマスルガ、是ハ唯今朝讀ニナッタ通ノ次第デアリマシテ、且ツ此理由書ニ書イデアリマスル通デ、其餘ニ於キマシテ別段深ク申述ベル程ノ必要ガナイノデアリマスルカラ、ドウゾ委員ニ付託ニナリマシテ速ニ審議ニナラシコトヲ希望致シマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 本案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉ニ移リマス

○子爵堤功長君 本案ノ特別委員ハ議長ニ於テ選定アラシコトヲ希望致シマス

○子爵鍋島直虎君 贊成

○男爵西五辻文伸君 贊成

○副議長(侯爵黑田長成君) 堤子爵ヨリ本案特別委員ノ選舉ハ議長ニ一任スルト云フ動議、此動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黑田長成君) 過半数デゴザイマス、次ニ市制中東京市、京都市、大阪市ニ設ケタル特別廢止法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、特別委

員長報告

(安場保和君演壇ニ登ル)

○安場保和君 本案ハ特別委員ニ付託ニナリマシテ、大分日數ヲ經マシテアリマスガ誠ニ單簡ナ議案デゴザイマスレバ、委員會ガ格別討論ヲ要スル議案デハアリマセヌデ速ニ御報告ヲ致シマスベキデアリマシタガ、丁度停會ニ爲リマシタ、又引續キ豫算委員會ガ開カレマシテ遂ニ數日間ヲ經過致シマシテ漸ク一昨日ニ於キマシテ委員會ヲ開キマシタ、所ガ固ヨリ此三都府ノ特別市制ヲ廢スルト云フコトハモウ年々衆議院ヨリ送付ニナリマシテ本院ニ於テハ年々否決ヲ致シテ今日マデ經過致シタ議案デ、而カモ單簡ナルモノデアリマスレバ、一向議論ヲ費スコトモナイノデゴザイマス、唯特別委員會ノ多數ハ此議案ハ年々衆議院ヨリ提出ニナリマスルノハ誠ニ尤モ至極ノ理由ガアル、併ナガラ此案ニ附キマシテハ斯ノ如ク單簡ナル法案デハ遂ニ此府ヲ始メ、京都府大阪府ノ如キ大都會……大都會ノ政治ヲ取扱ヒマスノハ誠ニ不當ナ案デアルカラ是デハドウモ此議案ニ同意ヲ致シテ可決スルト云フコトニ至ラヌ、依ッテ此議案ハ毎年ナガラ理由ノアルニ拘ラズ否決ヲ致スト云フコトガ委員會ノ大多數デアリマシテ、其通ニ決シマシテゴザイマス、此段御報告ヲ致シマス、就キマシテハ聊カ本員ノ意見ヲ述ベテ諸君ノ清聽ヲ煩ハシ置キタク考ヘマスルノハ抑、此特別市制ナル者ノ制定ニナリマシタト云フコトハ萬分分テ事デアリマスガ、即チ最前市町村制ヲ發布ニナリマシタ時分ニ於キマシテ、矢張三都府ヲ始メ各舊城下等ノ市制ヲ施行致シマスニ附イテモ通ジテ是ハ施行ニナル等ノ主義デアッタノデ、然ル所ガドウ云フ所ノコトデアッタカ、孰レ此大都會ト小都會ハ一様ニ參ラヌト云フ所ヨリ政府ニ於テモ氣附カレタモノト見ヘマス、即チテハ一様ニ參ラヌト云フ所ヨリ政府ニ於テモ氣附カレタモノト見ヘマス、唯大要ノ經過歴史ヲ申シマスレバ何分此大都會ヲ治メルニハ普通ノ市制ニ依ッテハ行ハレ難イ事情ガアルト云フ所ヨリ特別市制ト云フモノヲ制定ニ依ッテ、今日マデ施行ニナッタ居ル、然ル所ガ其特別市制ナル者ハ種種ノ障礙ヲ爲シテ即チ之ヲ約言スレバ名實相違ハナイト云フ所ガアツテ其法ノ正シカラザルニ從ッテ事務上ニ實際大ニ差支ヲ生ズル事ガ多ク有ル、左ルニ依ッテ年々或ハ權利上ノ點ヨリ或ハ事務上ノ差支上ヨリ致シテ年々衆議院ヨリモ廢止案ヲ提出セラレマス、本員等ヨリ之ヲ見マスルニ實際ノ事ヲ考ヘテ見マスレバ、何分此單簡ナル追加案位ノモノヲ此大都會ヲ始メ西京大阪ノ大都會ヲ治メルト云フコトハ萬々行ハレヌ、其要點ヲ申セバ普通ノ各舊藩ノ下ニ在ル城下坏ニ行ハレテ居ル所ノ普通市制ハ即チ其縣ニハ縣知事ト云フ者ガ有ッテ之ヲ指揮監督シテ參ルガ、市長ト云フ者ノ執リ行フテ行ク事ニ於キマシテモ大ニ其權衡ヲ得テ居リマスガ、東京ヲ始メ三都府ノ如キニ至リマシテハ、殆ド數百萬ノ人口ヲ有シテ居リマス、殊ニ輦轂ノ下ナリ、舊都ト云ヒ、大阪ノ商工ノ集點ト云ヒ、斯ノ如キ大都會ニ至リマシテ其市長ヲ公選ヲ致シテ、其行政事務ヲ取扱ハセルニ至リマシテハ、其府知事ト云フノ權衡ガ大ニ鈞合ヲ失ヒマシテ指揮監督ト云フ場合ニハ、萬々至リ兼ネヤウト云フコトガ我々ノ此尤ナル市制廢止案ヲ年々否決スル所以、就キマシテハ我々ノ希望スル所ニ於キマシテハ大都會ハ大都會相應ノ制度ヲ制定致シマ

シテ其適當ナル行政事務ヲ指揮監督致シマシテ、全體ニ施行シテアル所ノ自治ノ制度ト相悖ラヌヤウニ適合ノ制度ヲ制定サレタイト云フノガ我々ノ望アル、其望ノコトハ年々政府委員ニ向ッテモ十分ニ注意ヲ加ヘ、既ニ本年ニ至リマシテハ都制ト云フモノヲ提出ニ相成リマシタガ、是ハ又甚シイドウモ不適當ナモノデ、遂ニ今日名實相違致シナガラモ行ハレ居ル所ノ特別市制ヨリモダ甚シイ、……今日ニ行フベカラザル法案ト云フ點ヨリ致シテ遂ニ委員會ニ於テモ多數ノ異議ガ有ッテ遂ニ政府モ撤回ト云フ事ニ爲リマシタ、我々ノ望ム所ハ何處マデモ今日適當ノ場合デ、即チ一般ニ施行シテアル現行監督ノ行屆クヤウニ精神ヲ……精神ノ行ハレヤウニシテ、是ガ適當ノ指揮監督大ニ宜シカラウト云フ所ヨリ恰好ナ行ハレヤウニシテ今日施行ニナッタラバシマシタナレドモ、政府ニ於テハ既ニ本年提出ノ通、外ニ急速ニ恰好ナル制度ヲ制定シテ當期ノ議案ニ出スト云フコトハ到底行ハレヌ、又ソレナラバ此次期ノ議會マデ提出ガ出來ヤウカト云フコトモ委員會中ヨリ内務大臣ニ向ッテ質問ヲ致シマシタラバ、ソレハ一個ノ考モ又政府ノ議ニ於テモ今日ヨリ豫約ハ出來ナイ、併ナガラ特別委員會ノ請求ノ切ナル所ノ事情ハ確ニ承ッタニ依ッテ、之ヲ政府ニ通知致シテ評議ハ致スデアラウト云フ返答ヲ得マシタ位ノ事デ、返ス、……モ我々ハ斯ノ如ク緊要ナル釐穀ノ下ノ地方制度ガ支拄格ヲ致シテ、年々官民ノ間ニ軋轢ヲ生ジテ遂ニ決著スル所ガナイト云フコトハ甚ダ遺憾ニ存シマスカラ、本年ニ於テモ政府デ制定ガ出來ヌナラバ我々ニ於テナリト其邊ノ所ヲ十分ニ見込テ盡シテ提出デモ致シタイト云フ考デアリマスルガ、何分其材料ヲ求ムルニモ甚ダ困難デアリマスニ依ッテ本年ノ議會ニ提出ノ見込モアリマセヌ、デ到底望ム所ハ右様ナ自治制ノ精神ヲ十分ニ盡シ、又之ヲ指揮監督スル所ノ行政長官ノ權利モ十分ニ伸ビテ、互ニ相依リ相持ッテ此釐穀ノ下ニ十分適當ナル制度ヲ得タイト云フノガ本員等ノ從來ノ希望、將來ニ大ニ切望スル所デアリマスカラ序ナガラ本員ノ意向、且ツ又是ハ同委員會ニ於テモ大同小異ノ論デゴザイマスカラ其邊ハ序ニ申述ベ置キマス、右委員會ノ次第ハ前ニ申述ベマシタ通デゴザイマスカラ宜シク御判斷アラントコトヲ希ヒマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 本日ハ何分定足數ニ差支ヘマスニ依ッテ延會ヲ致シマス、明日ノ議事日程ヲ御報告ニ及ヒマス、午前十時開議、第一、害蟲驅除豫防法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告、第二、市制中東京市京都市大阪市ニ設ケタル特別廢止法律案、衆議院提出、第一讀會、前會ノ續、第三、市制中追加法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告、第四、鐵道敷設法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會、第五、右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉、第六、集會及政社法中刪除法律案、衆議院提出、第一讀會、第七、右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉、第八、官吏恩給法及官吏遺族扶助法律案、本院提出、衆議院回付、會議、本日ハ散會

午後三時五分散會

貴族院議事速記錄正誤

頁 段 行 誤 正
三六一 上 三 贊成 反對
又三五三頁下段八行ハ衍

